
今 治 市

子ども・若者の意識と生活に関する調査

調査報告書

令和6年10月

今治市 こども未来部 ネウボラ政策課

目 次

I 調査の概要	4
---------	---

II 調査結果	5
---------	---

あなた自身のことについてお聞きします。

問 1 性別	5
--------	---

問 2 年齢	5
--------	---

問 3 住まいの小学校区	6
--------------	---

問 4 婚姻状況	6
----------	---

問 5 同居人	6
---------	---

問 6 (1) 生計を支えている人	7
-------------------	---

問 6 (2) 生計を支えている人の主な収入源	7
-------------------------	---

問 7 生活水準の自己評価	8
---------------	---

問 8 卒業・在学中の学校	8
---------------	---

問 9 現在の職業	9
-----------	---

問 10 就業経験	9
-----------	---

あなたの日頃の意識と生活についてお聞きします。

問 11 あなた自身について	10
----------------	----

問 12 自身の幸福感	13
-------------	----

問 13 居場所について	14
--------------	----

問 14-1 孤独・孤立の状況	16
-----------------	----

問 14-2 孤独とを感じる頻度	17
------------------	----

問 15 家族・親族とのかかわり	18
------------------	----

問 16 学校で出会った友人とのかかわり	20
----------------------	----

問 17 職場・アルバイト関係の人とのかかわり	22
-------------------------	----

問 1 8	地域の人とのかかわり	2 3
問 1 9	インターネット上における人やグループとのかかわり	2 4
問 2 0	他人とのコミュニケーションについて	2 5
問 2 1	社会貢献の意識について	2 6
問 2 2	将来への希望について	2 6
問 2 3	20年後のビジョン	2 7
問 2 4	普段の暮らしの場での時間の使い方	2 8
問 2 5	外出の頻度	2 9
問 2 6	現在の外出状況の継続期間	3 0
問 2 7	現在の外出状況になった年齢	3 1
問 2 8-1	現在の外出状況になった理由	3 2
問 2 8-2	現在の外出状況になった最も大きな理由	3 3
問 2 9	この半年間での家族以外の人との会話頻度	3 4
問 3 0	社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験	3 4
問 3 1	その原因	3 5
問 3 1 (1)	自分自身について	3 5
問 3 1 (2)	家族・家庭について	3 6
問 3 1 (3)	学校について	3 7
問 3 1 (4)	仕事・職場について	3 8
問 3 2	社会生活や日常生活が改善した経験	3 9
問 3 3	改善したきっかけや役立ったこと	4 0
問 3 4	家族や知り合い以外で相談したい場所や人	4 1
問 3 5	相談したくないと思う理由	4 2
問 3 6	育成支援機関等の認知度	4 3

問 3 7	育成支援機関等の利用有無	4 4
問 3 8	育成支援機関等の利用希望の有無	4 4
問 3 9	結婚と子どもの状況	4 5
問 4 0	将来の結婚希望	4 5
問 4 1	結婚していない理由	4 6
問 4 2	行政に期待する結婚支援サービス	4 7
問 4 3	結婚時の年齢	4 8
問 4 4	現在の子どもの人数	4 8
問 4 5	理想的な子どもの人数	4 9
問 4 6	子どもの人数についての理想と現実の差	4 9
問 4 7	理想の方が多いと感じる理由	5 0
問 4 8	少子化問題への意識	5 1
問 4 9	重要と感じる若い世代への少子化対策の取組	5 1
問 5 0	市が実施している少子化対策事業の認知度	5 2

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市内の子ども・若者を対象とした生活状況について伺い、2024 年度に策定する「今治こども計画」策定の基礎資料とし、子ども・若者育成支援の施策に役立てることを目的としています。

2 調査概要

- ・調査地域：今治市全域
- ・調査対象者：今治市内在住の 18 歳～29 歳の方
- ・抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- ・調査時期：令和 6 年 6 月 28 日～7 月 31 日
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収および WEB 回答のハイブリッド方式

調査対象世帯数 (配布数)	有効回収世帯数	有効回収率
1,180 世帯	260 世帯	22.0%

3 報告書の見方

- ・回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100％にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100％を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中の n（number of case）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

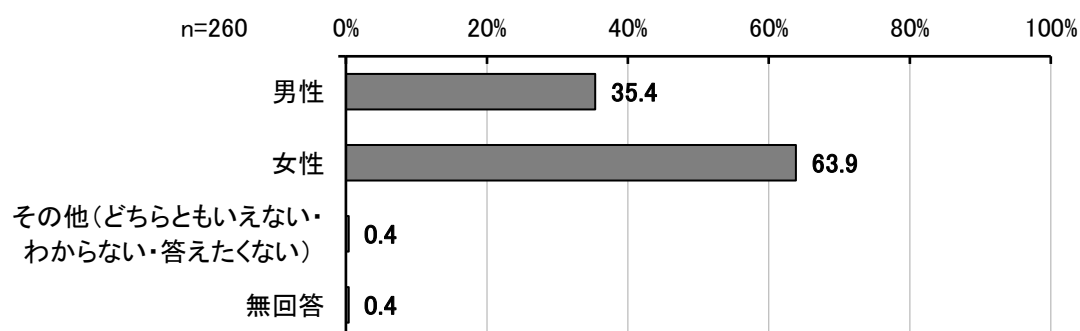
Ⅱ 調査結果

あなた自身のことについてお聞きます。

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

回答者の性別の割合についてみると、「男性」35.4%、「女性」63.9%となっています。

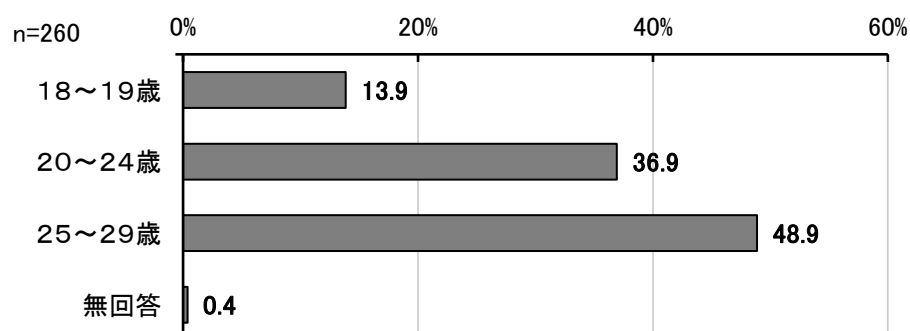
【単数回答】



問2 あなたの年齢をお答えください。(数字で)

回答者の年齢の割合についてみると、「18歳～19歳」13.9%、「20～24歳」36.9%、「25～29歳」48.9%となっています。

【単数回答】



問3 あなたの現在お住まいの小学校区は、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

回答者の住まいの小学校区についてみると、陸地部の割合が86.1%、島しょ部が7.7%となっています。

【単数回答】

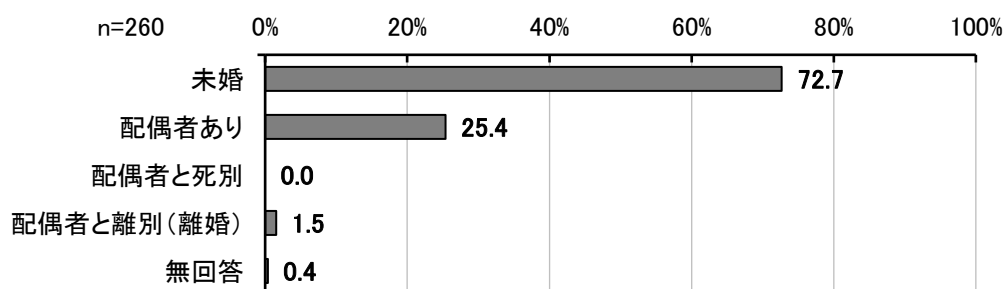
陸地部 86.1%

島しょ部 7.7%

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇は1つ)

回答者の婚姻状況についてみると、「未婚」の割合が72.7%と最も高く、次いで「配偶者あり」25.4%となっています。

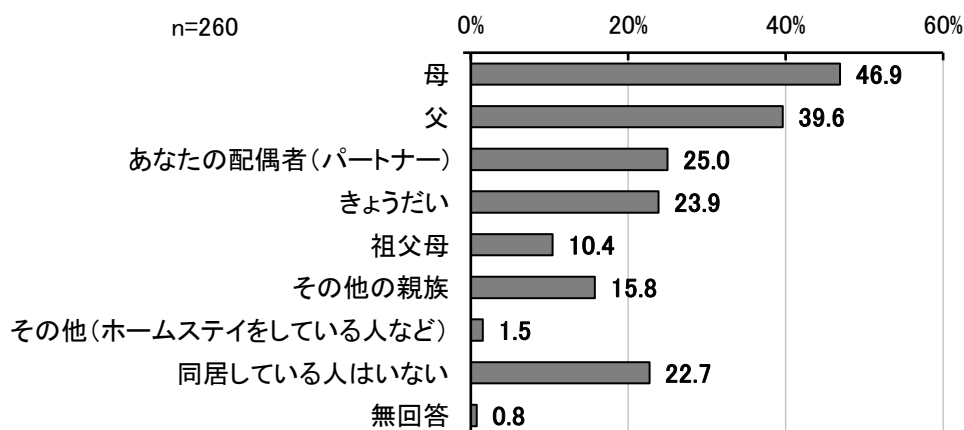
【単数回答】



問5 現在あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇はいくつでも)
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「7. その他」をお選びください。

回答者と同居している人についてみると、「母」の割合が46.9%で最も高く、次いで「父」、「あなたの配偶者(パートナー)」、「きょうだい」などの順になっています。

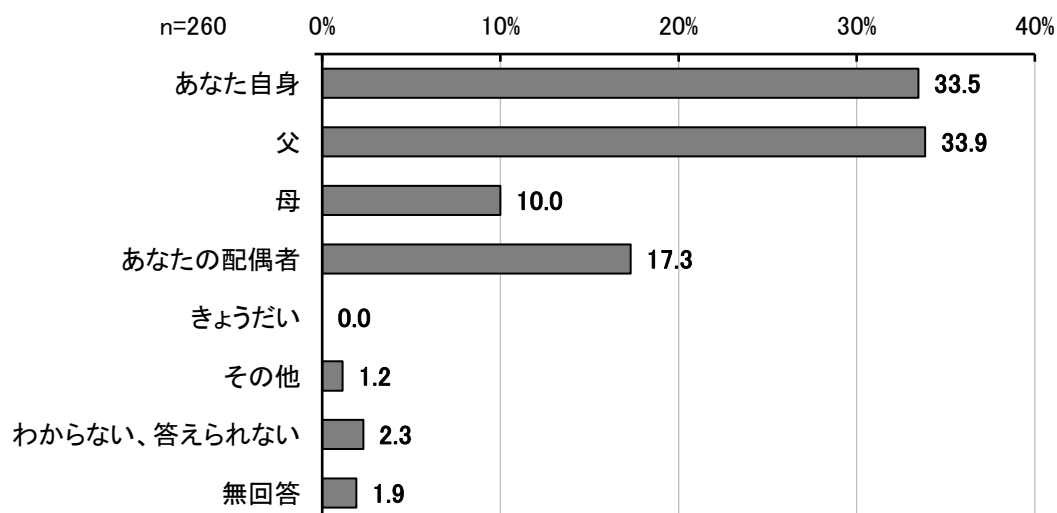
【複数回答】



問6 あなたの家の生計について、以下の（１）と（２）のそれぞれにお答えください。
（１）生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている場合は、その仕送りを主にしている方をお答えください。（〇は１つ）

回答者の生計を支えている人についてみると、「父」の割合が33.9%で最も高く、次いで「あなた自身」33.5%、「あなたの配偶者」17.3%などの順になっています。

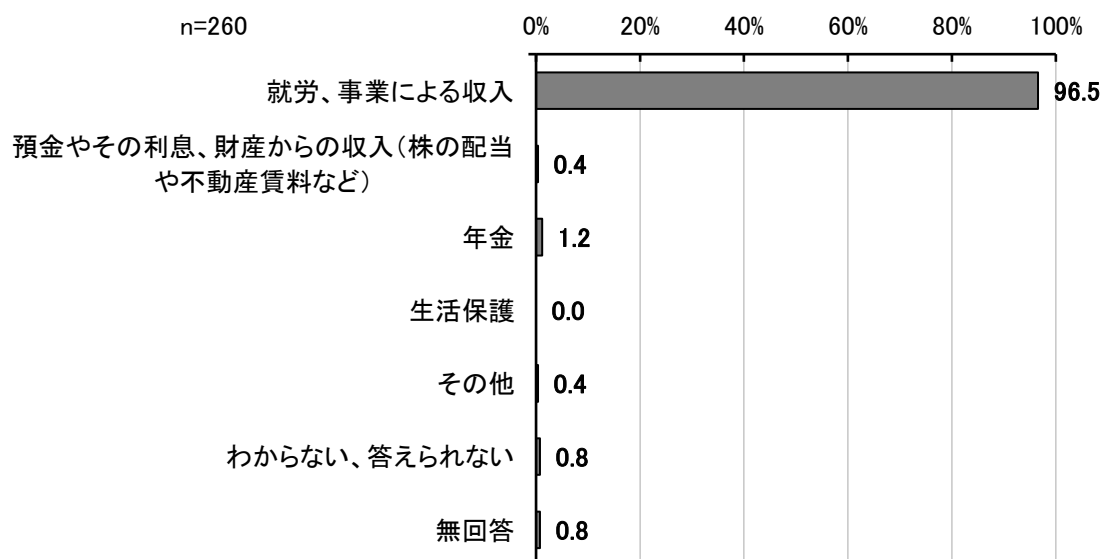
【単数回答】



（２）主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。（〇は１つ）

回答者の生計を支えている人の主な収入源についてみると、「就労、事業による収入」の割合が96.5%と、９割以上を占めています。

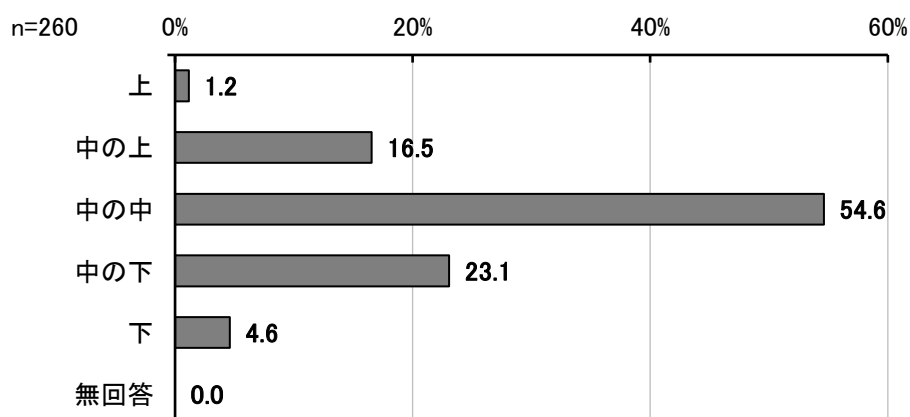
【単数回答】



問7 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたると思いますか。（○は1つ）

生活水準の自己評価についてみると、「中の中」の割合が54.6%と半数以上を占め、次いで「中の下」、「中の上」などの順になっています。

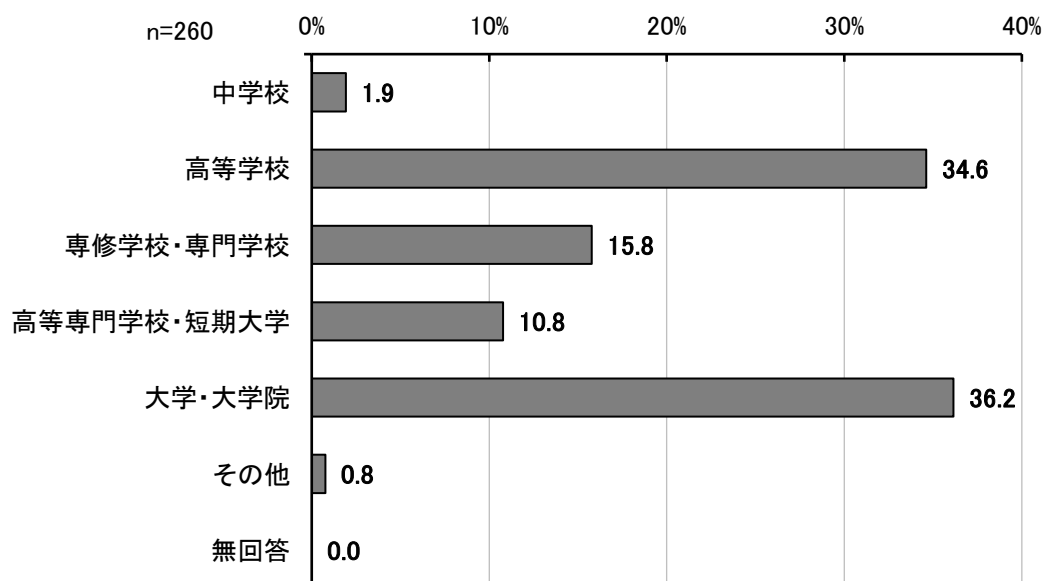
【単数回答】



問8 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学されている学校をお答えください。（○は1つ）

卒業・在学中の学校についてみると、「大学・大学院」の割合が36.2%と最も高く、次いで「高等学校」34.6%、「専修学校、専門学校」15.8%などの順となっています。

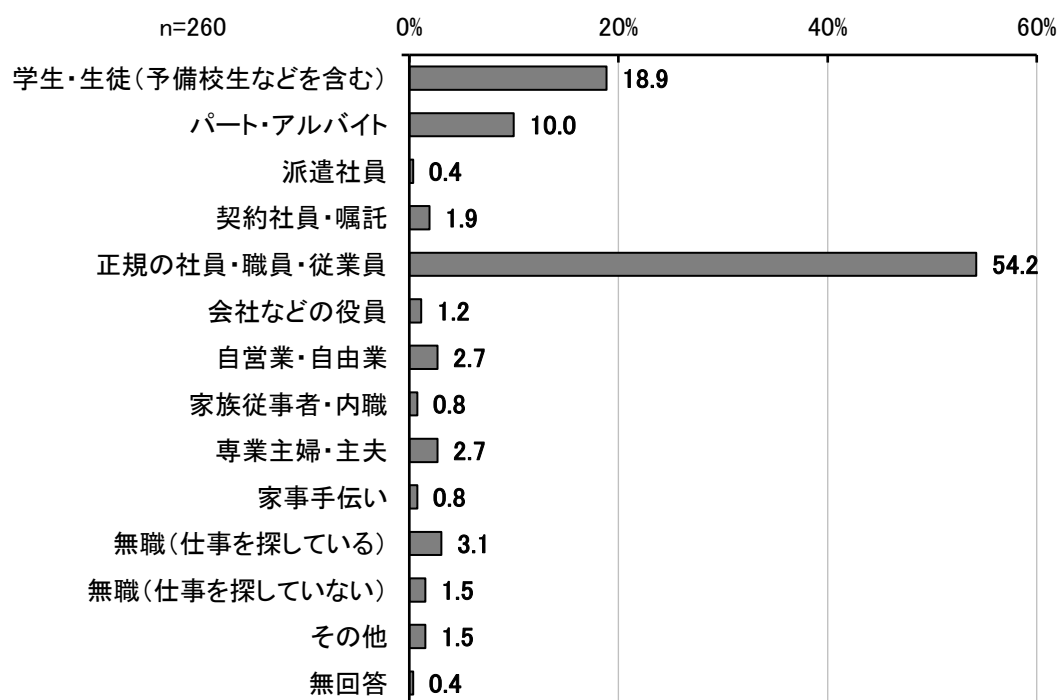
【単数回答】



問9 あなたの現在の仕事をお答えください。(〇は1つ)

回答者の現在の仕事についてみると、「正規の社員・職員・従業員」が54.2%と半数以上を占めており、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」18.9%、「パート・アルバイト」10.0%の順となっています。

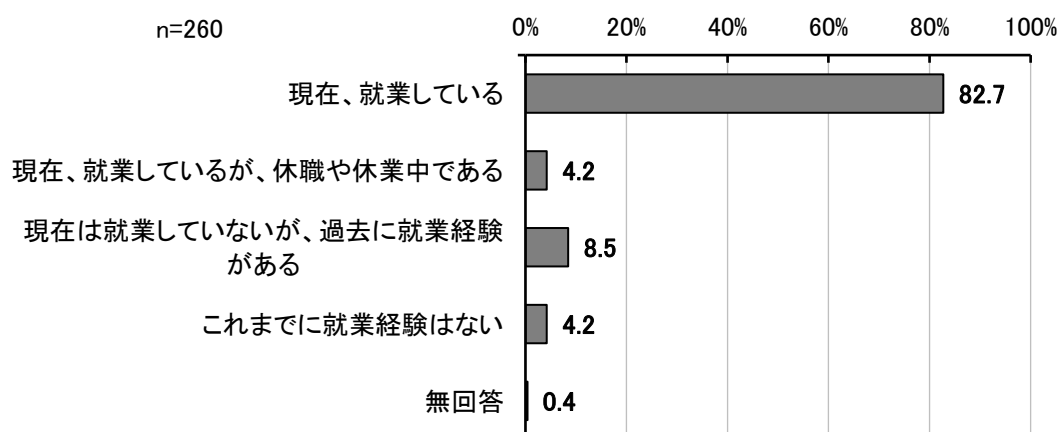
【単数回答】



問10 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)(〇は1つ)

回答者の就業経験についてみると、「現在、就業している」が82.7%と、8割以上を占めています。

【単数回答】



あなたの日頃の意識と生活についてお聞きします。

問ⅠⅠ あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。

(ア～ソのそれぞれについて、○は1つ)

「あてはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計の割合についてみると、「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」が93.1%と最も高くなっており、9割以上が親子関係を肯定的にとられています。次いで、「ア）自分には自分らしさというものがあると思う」が84.2%となっています。一方、「ソ）自分は役に立たないと強く感じる」が31.5%と最も低くなっています。また、「ケ）今の自分が好きだ」が63.0%と6割を超えています。以上のことから自己肯定感や自己効力感が充足している状況がみてとれます。

それぞれの項目について、年代別で結果を数値指標化すると、「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」が各年代いずれも2点台後半と突出して高くなっています。「ア）自分には自分らしさというものがあると思う」も各年代2点以上と高い水準にあり、年代があがるにつれて自己肯定感も増していく傾向がみてとれます。

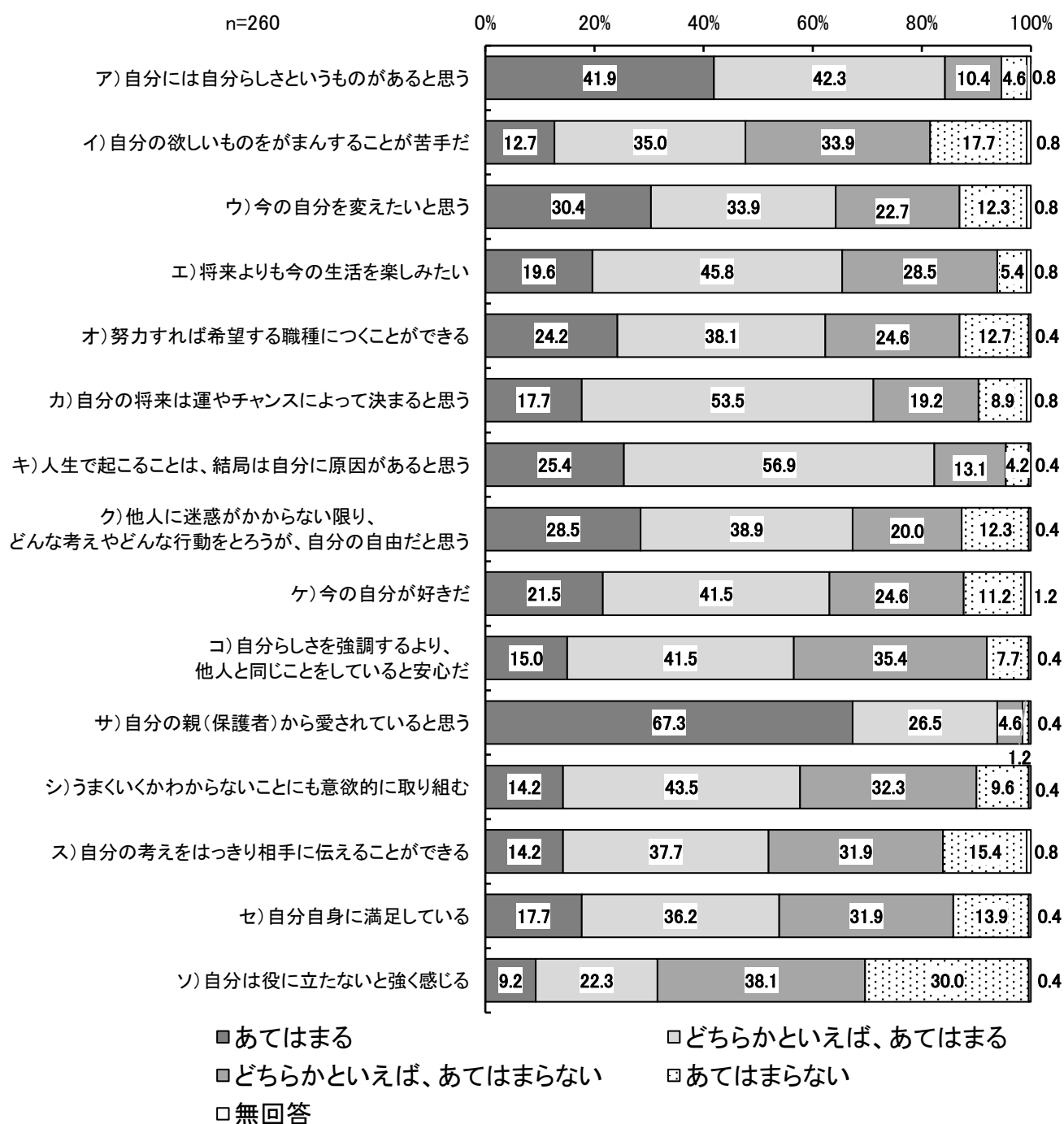
「オ）努力すれば希望する職種につくことができる」では、10代で2.1点、20代前半で1.7点、20代後半で1.6点と、年代があがるにつれて数値が減少する傾向がみられます。

「ク）他人に迷惑がかからない限り、どんな考えやどんな行動をとろうが、自分の自由だと思う」では、10代で1.4点、20代前半で1.7点、20代後半で2.0点と年代があがるにつれて数値が上昇する傾向がみられます。

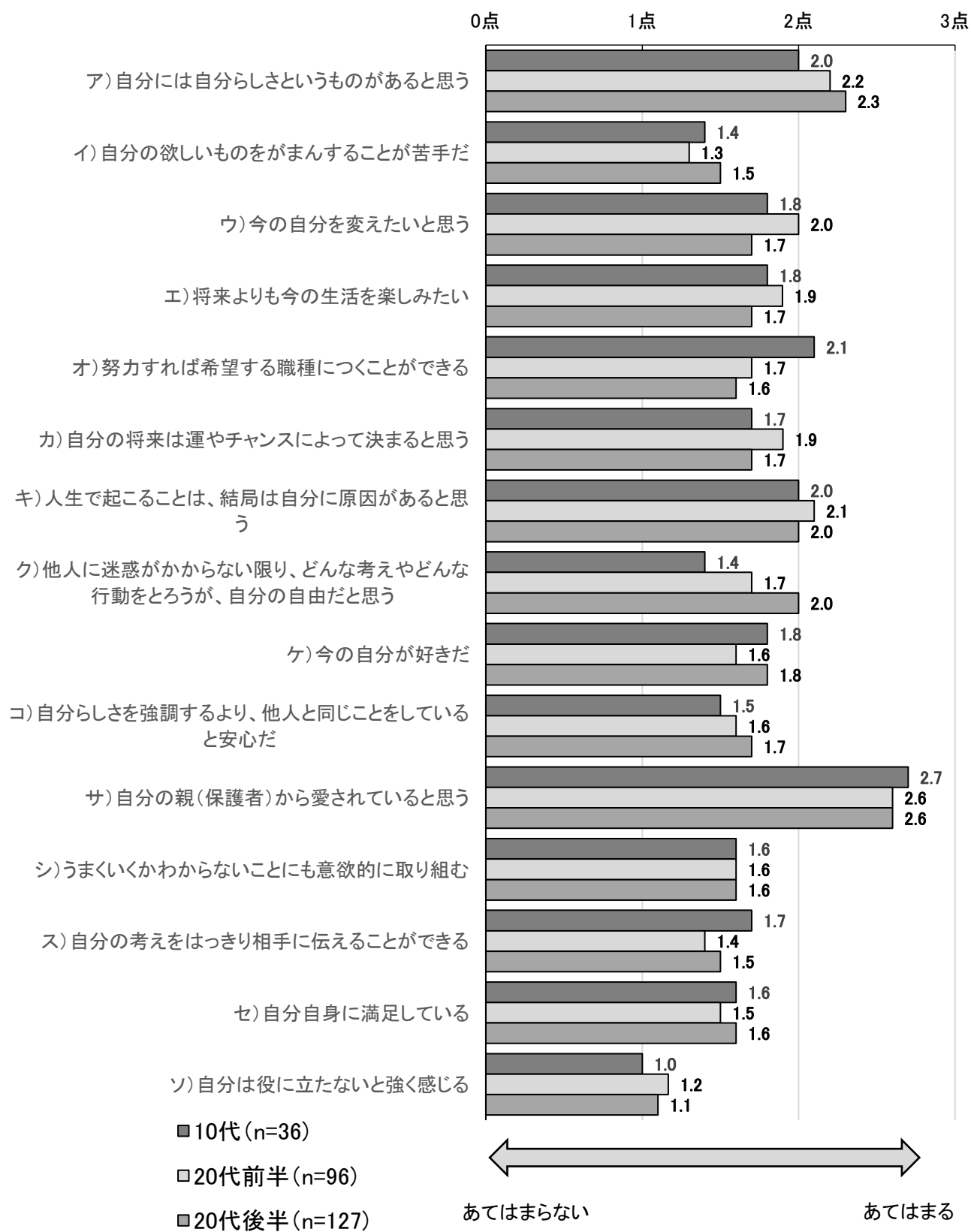
※数値指標化について

(「あてはまる」3点×人数+「どちらかといえば、あてはまる」2点×人数+「どちらかといえば、あてはまらない」1点+「あてはまらない」0点×人数)÷回答者総数(無回答を除く)

【単数回答】



【数値化指標 年代別】



問12 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。(〇は1つ)

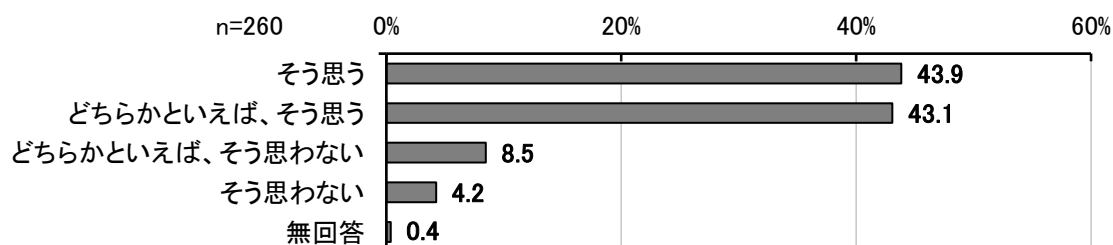
幸福感についてみると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計が87.0%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計が12.7%となっており、その差は74.3ポイントとなっています。

年代別で結果を数値指標化すると、年代による幸福感の差はほとんどみられません。

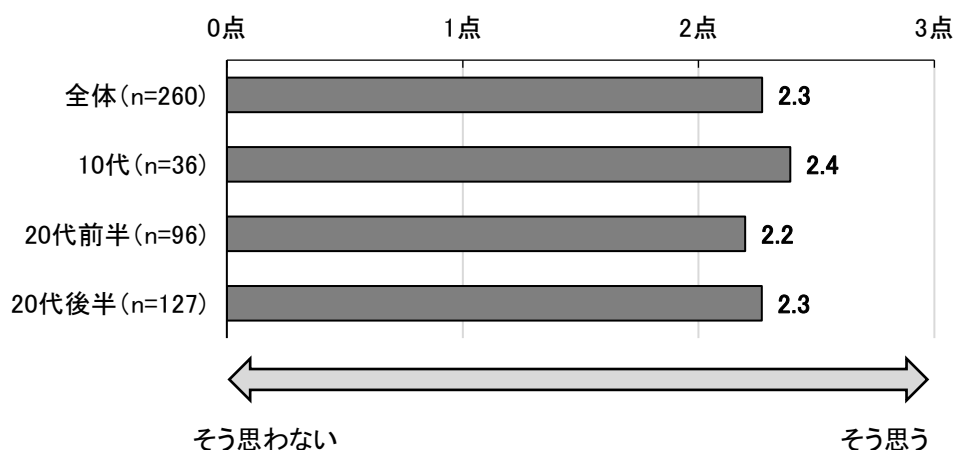
※数値指標化について

(「そう思う」3点×人数+「どちらかといえば、そう思う」2点×人数+「どちらかといえば、そう思わない」1点+「そう思わない」0点×人数)÷回答者総数(無回答を除く)

【単数回答】



【数値化指標 年代別】



問 1 3 次の場所は今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）
になっていますか。（ア～カのそれぞれについて、○は1つ）

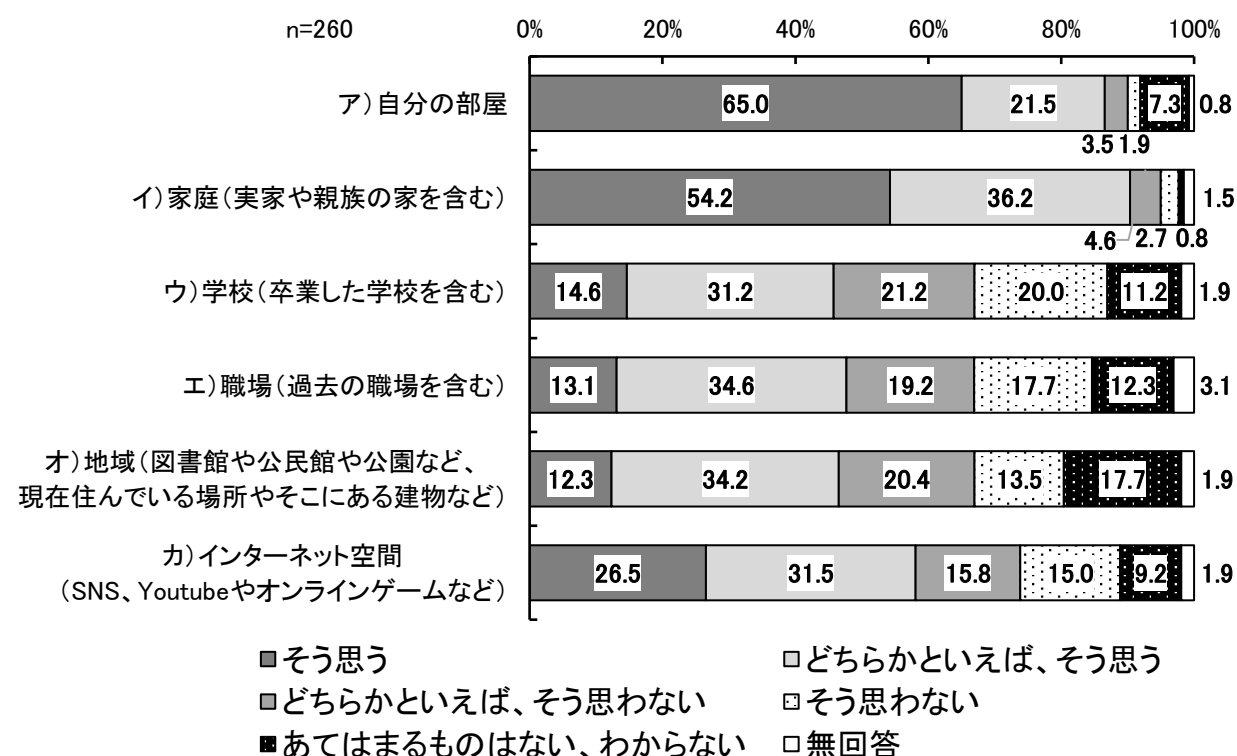
自身にとって居場所だと思える場所について、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計を昇順でみると、「イ）家庭（実家や親族の家を含む）」が 90.4%と最も高く、次いで「ア）自分の部屋」が 86.5%となっている一方で、「ウ）学校（卒業した学校を含む）」、「エ）職場（過去の職場を含む）」、「オ）地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）」はいずれも 4 割台となっており、居場所だと感じられる場所が社会の中に少ないという状況がみてとれます。

年代別で結果を数値指標化すると、「オ）地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）」では、10 代で 1.5 点、20 代前半で 1.3 点、20 代後半で 1.1 点と、年代があがるにつれて数値が減少する傾向がみられます。

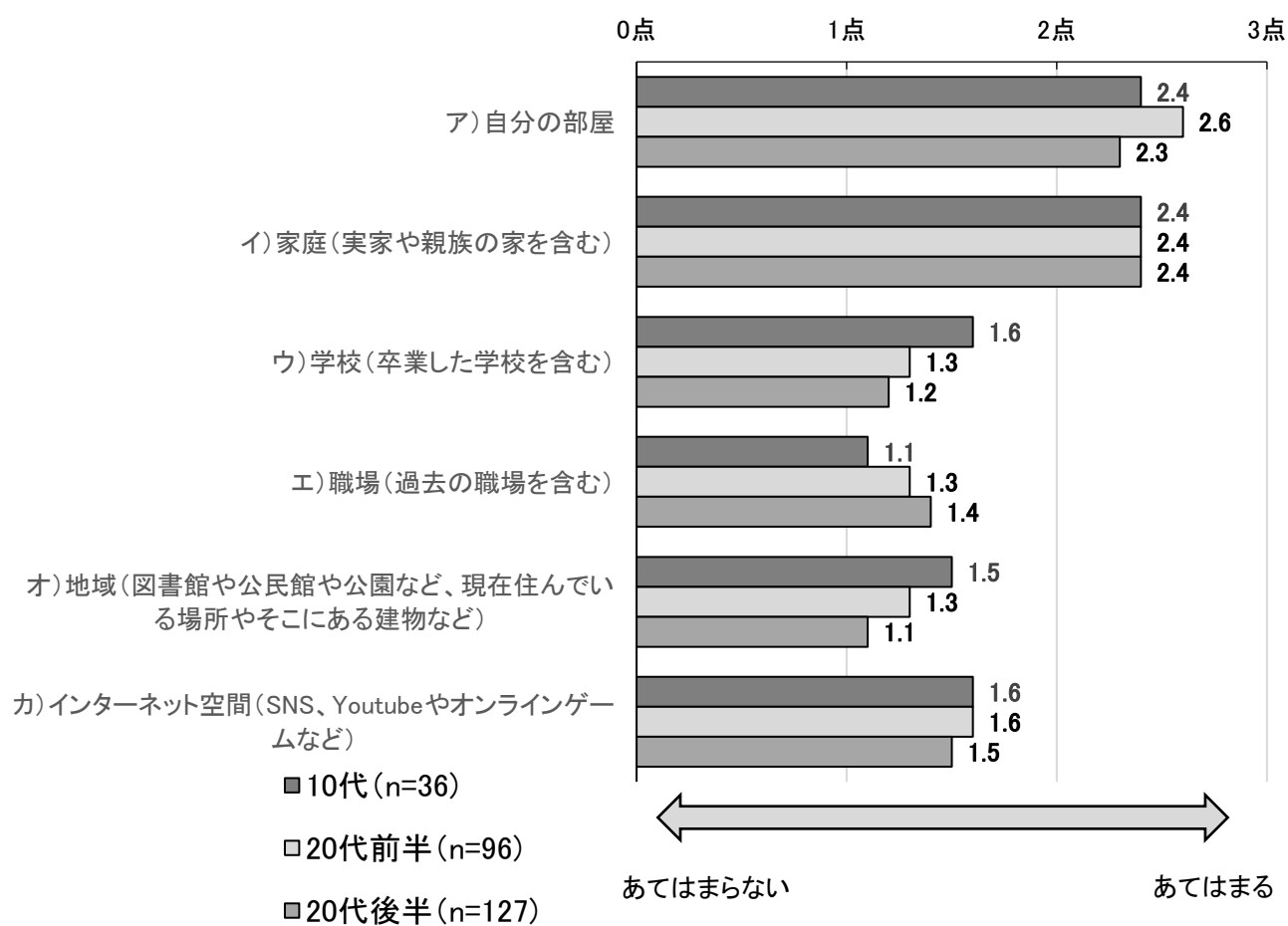
※数値指標化について

（「そう思う」3 点×人数+「どちらかといえば、そう思う」2 点×人数+「どちらかといえば、そう思わない」1 点+「そう思わない」0 点×人数）÷回答者総数（無回答を除く）

【単数回答】



【数値化指標 年代別】



問 | 4-1 以下のア～ウの項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。
(ア～ウのそれぞれについて、○は1つ)

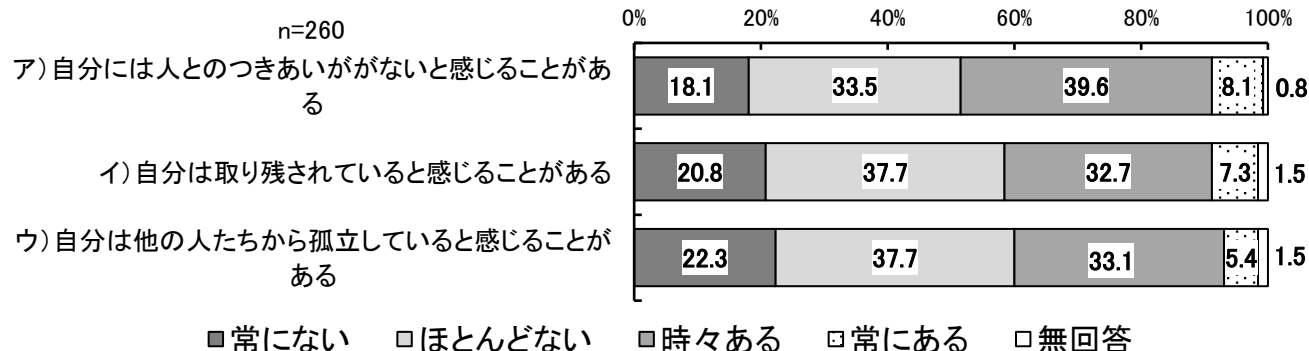
孤独・孤立の状況について、「時々ある」と「常にある」の割合の合計をみると、「ア) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある」が47.7%と最も高く、次いで「イ) 自分は取り残されていると感じることがある」40.0%、「ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」38.5%となっています。

年代別で結果を数値指標化すると、「イ) 自分は取り残されていると感じることがある」、「ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」では、10代の点数が最も高く、20代後半の点数が最も低くなっています。

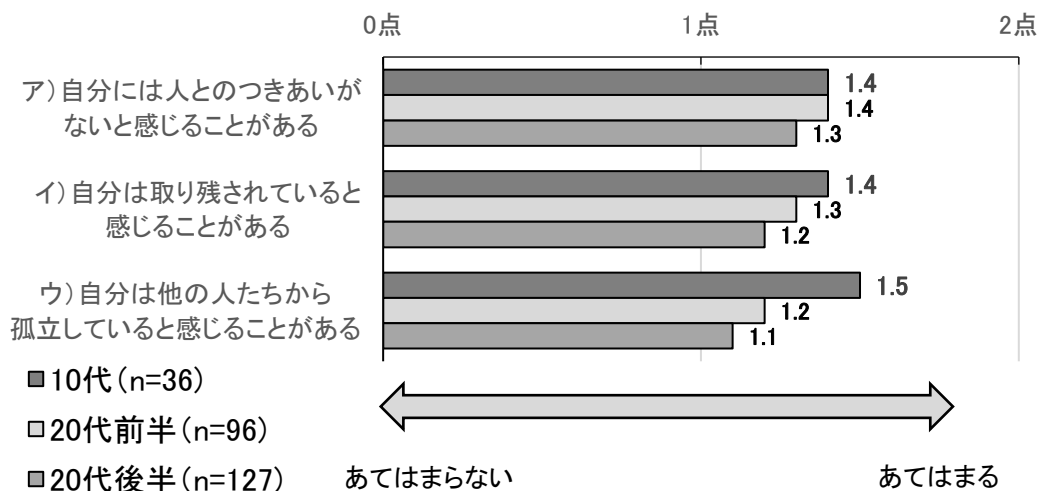
※数値指標化について

(「そう思う」3点×人数+「どちらかといえば、そう思う」2点×人数+「どちらかといえば、そう思わない」1点+「そう思わない」0点×人数)÷回答者総数(無回答を除く)

【単数回答】



【数値化指標 年代別】

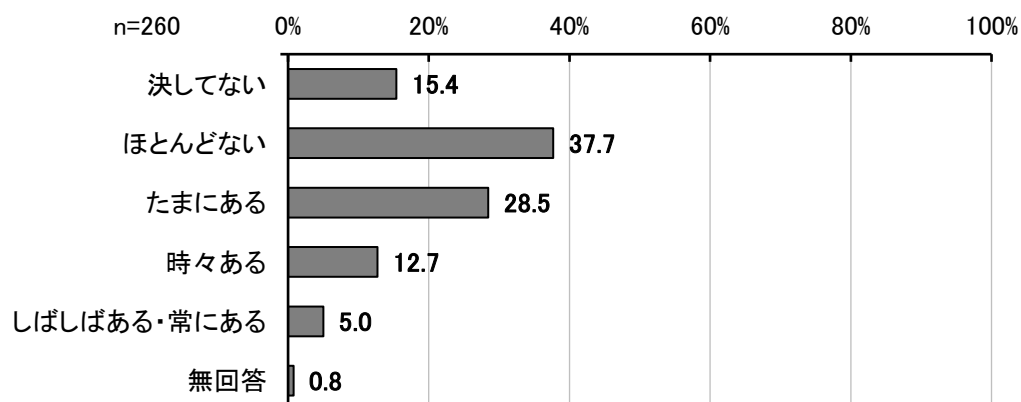


問1 4-2 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(〇は1つ)

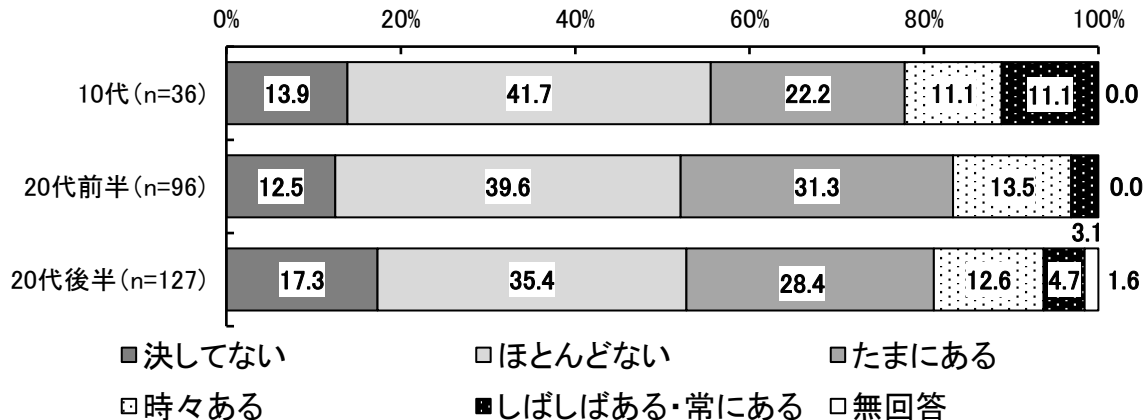
孤独と感じる頻度についてみると、「決してない」と「ほとんどない」の割合の合計が53.1%と半数以上を占めています。一方、「たまにある」「時々ある」「しばしばある、常にある」の合計が46.2%となっており、差は6.9ポイントとなっています。

年代別でみると、10代で「しばしばある・常にある」が1割を超えており、高くなっています。

【単数回答】



【年代別】



問15 家族・親族とあなたのかかわりはどのようなものですか。

(ア～カのそれぞれについて、○は1つ)

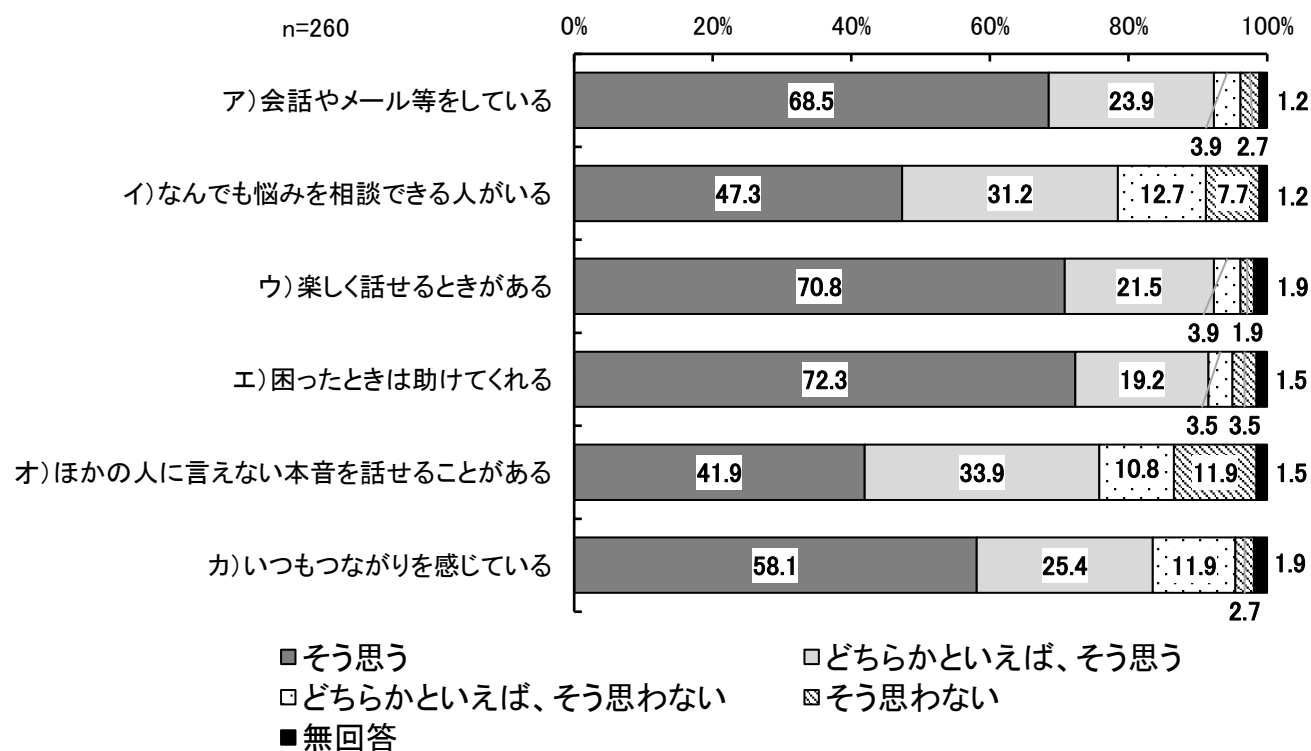
家族・親族とのかかわりについて、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計をみると、「イ) なんでも悩みを相談できる人がある」が78.5%、「オ) ほかの人に言えない本音を話せることがある」が75.8%と、他の項目よりも低くなっています。

年代別で結果を数値指標化すると、年代による家族・親族とのかかわりの差はほとんどみられません。

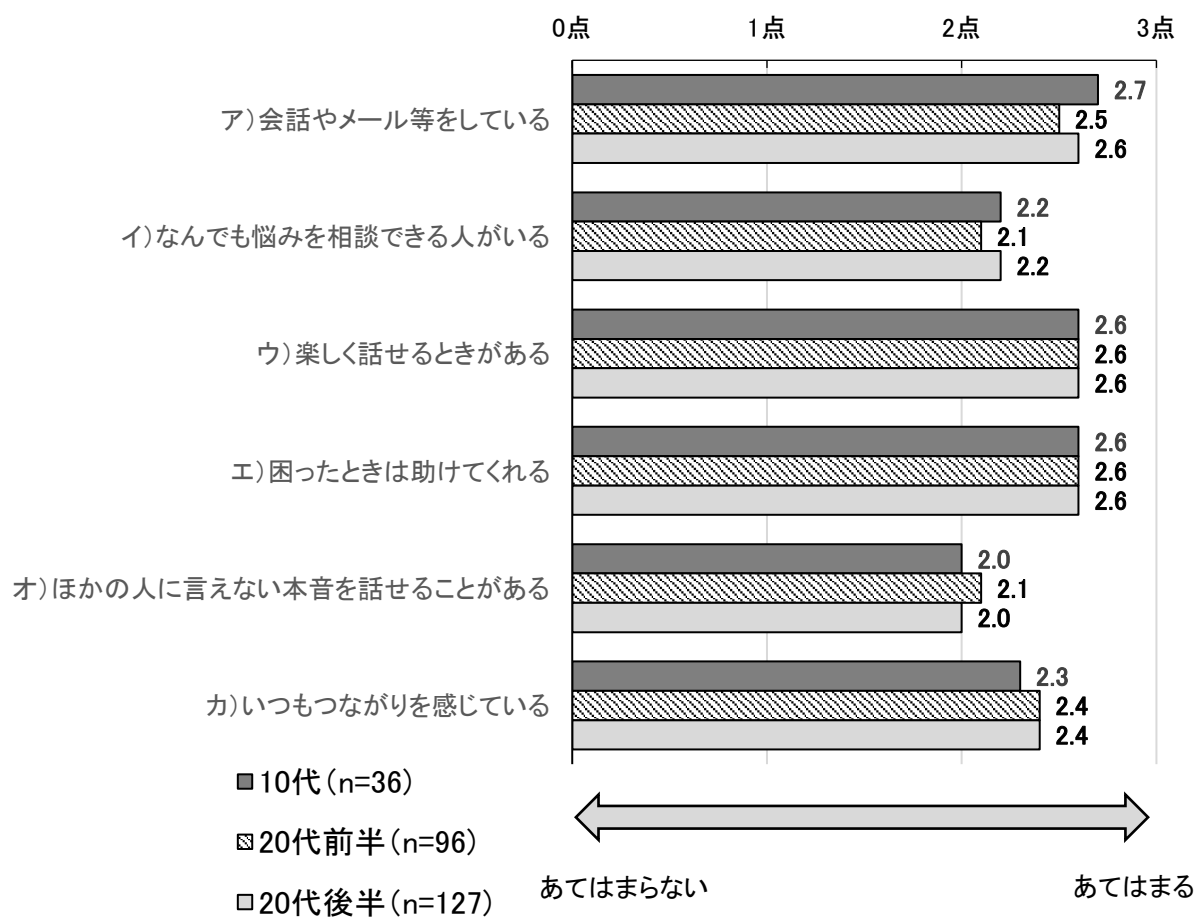
※数値指標化について

(「そう思う」3点×人数+「どちらかといえば、そう思う」2点×人数+「どちらかといえば、そう思わない」1点+「そう思わない」0点×人数)÷回答者総数(無回答を除く)

【単数回答】



【数値化指標 年代別】



問 1 6 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）と、あなたの現在のかかわりはどのようなものですか。

（ア～カのそれぞれについて、○は1つ）

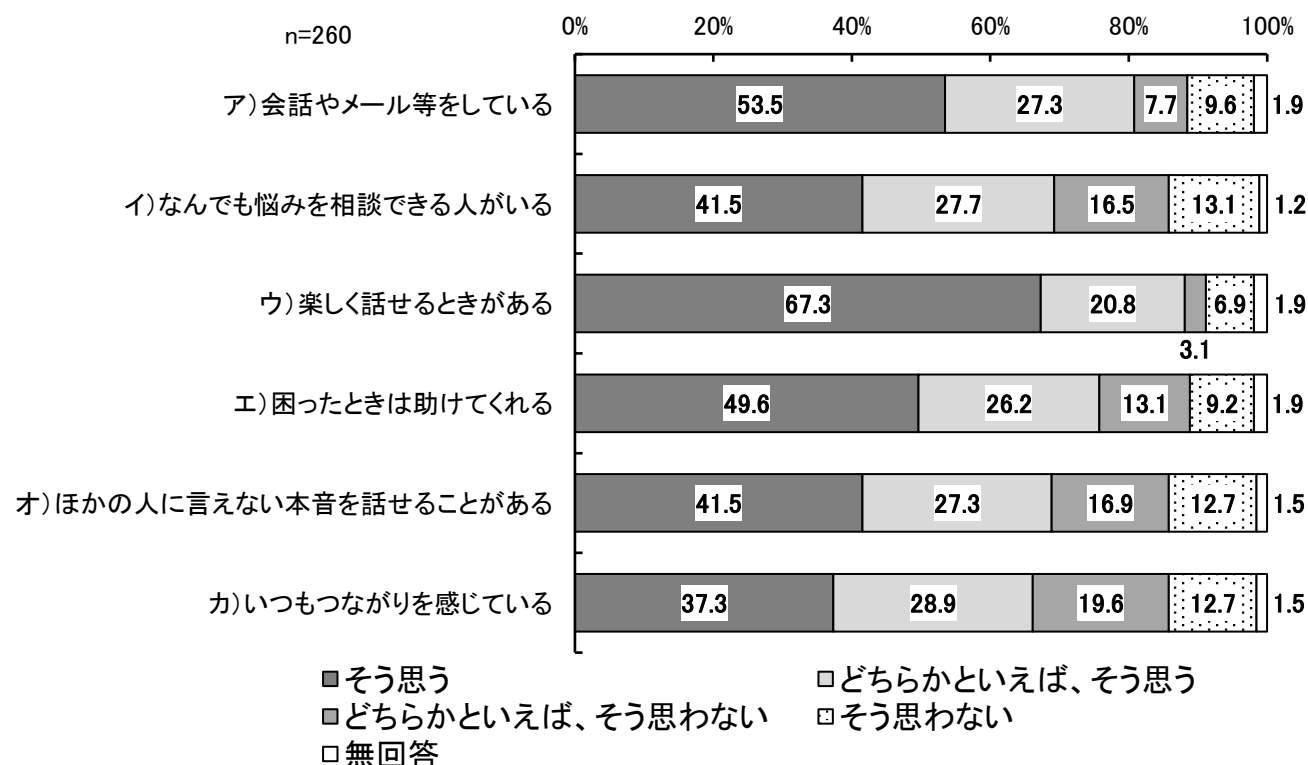
学校で出会った友人とのかかわりについて、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計をみると、「イ）なんでも悩みを相談できる人がいる」69.2%、「オ）ほかの人に言えない本音を話せることがある」68.8%、「カ）いつもつながりを感じている」66.2%と、他の項目よりも低くなっています。

年代別で結果を数値指標化すると、全ての項目で20代後半の数値が最も低くなっており、学校で出会った友人とのかかわりが少なくなっていることがみてとれます。

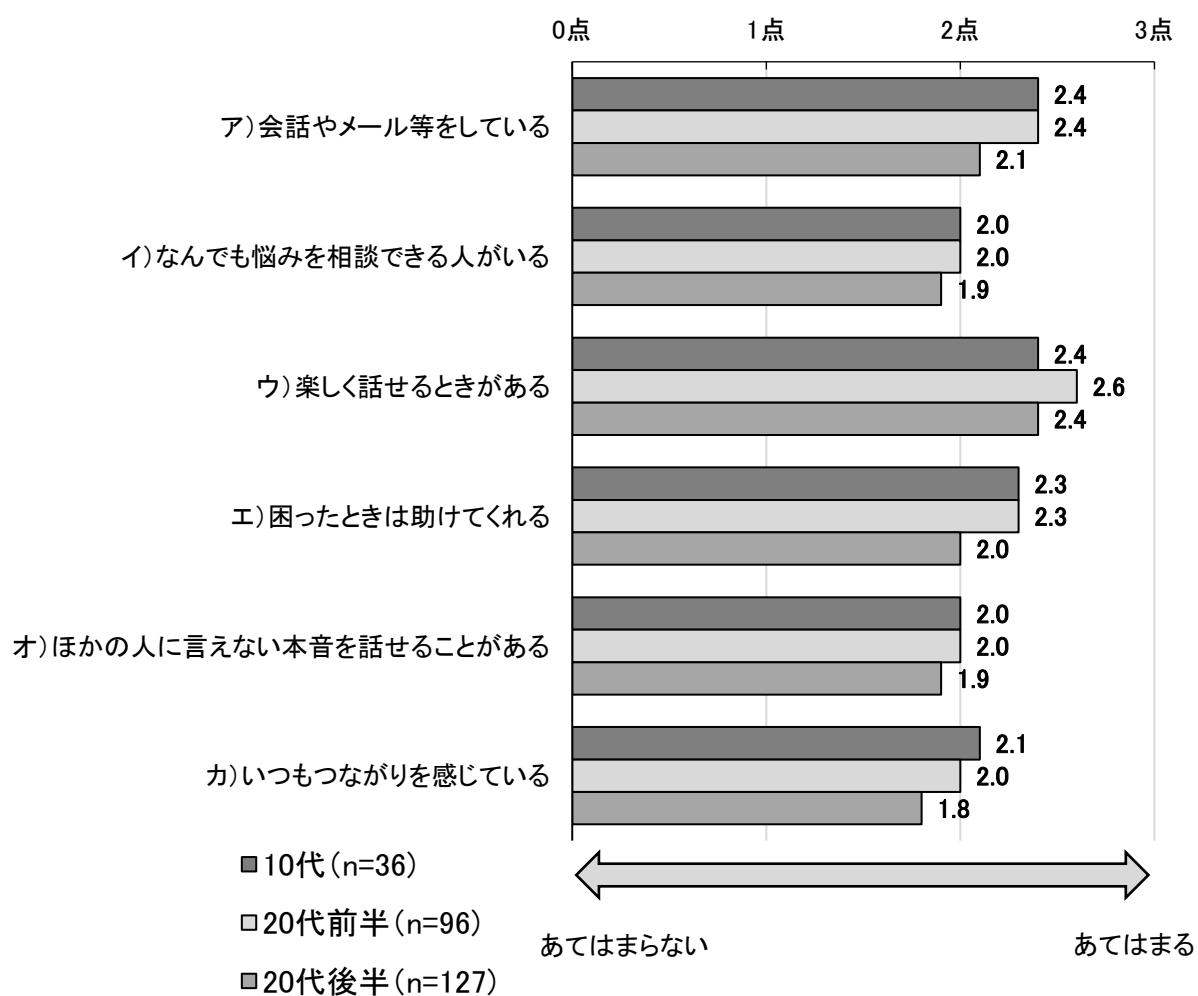
※数値指標化について

（「そう思う」3点×人数+「どちらかといえば、そう思う」2点×人数+「どちらかといえば、そう思わない」1点+「そう思わない」0点×人数）÷回答者総数（無回答を除く）

【単数回答】



【数値化指標 年代別】

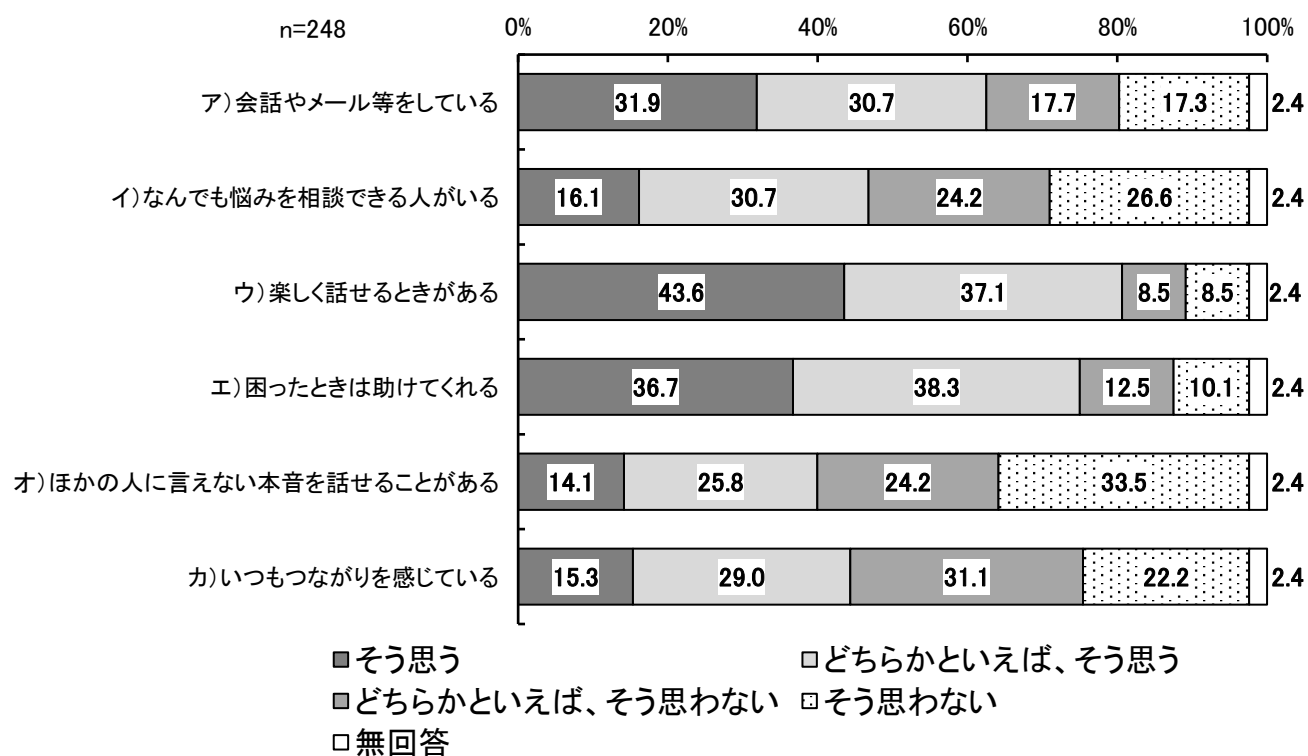


【問１０で「１．現在、就業している」、「２．現在、就業しているが、休職や休業中である」、「３．現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問１７ 職場・アルバイト関係の人（現在および過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（ア～カのそれぞれについて、○は１つ）

職場・アルバイト関係の人とのかかわりについて、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計をみると、「イ）なんでも悩みを相談できる人がいる」46.8%、「オ）ほかの人に言えない本音を話せることがある」39.9%、「カ）いつもつながりを感じている」44.3%と、他の項目よりも低くなっています。

【单数回答】

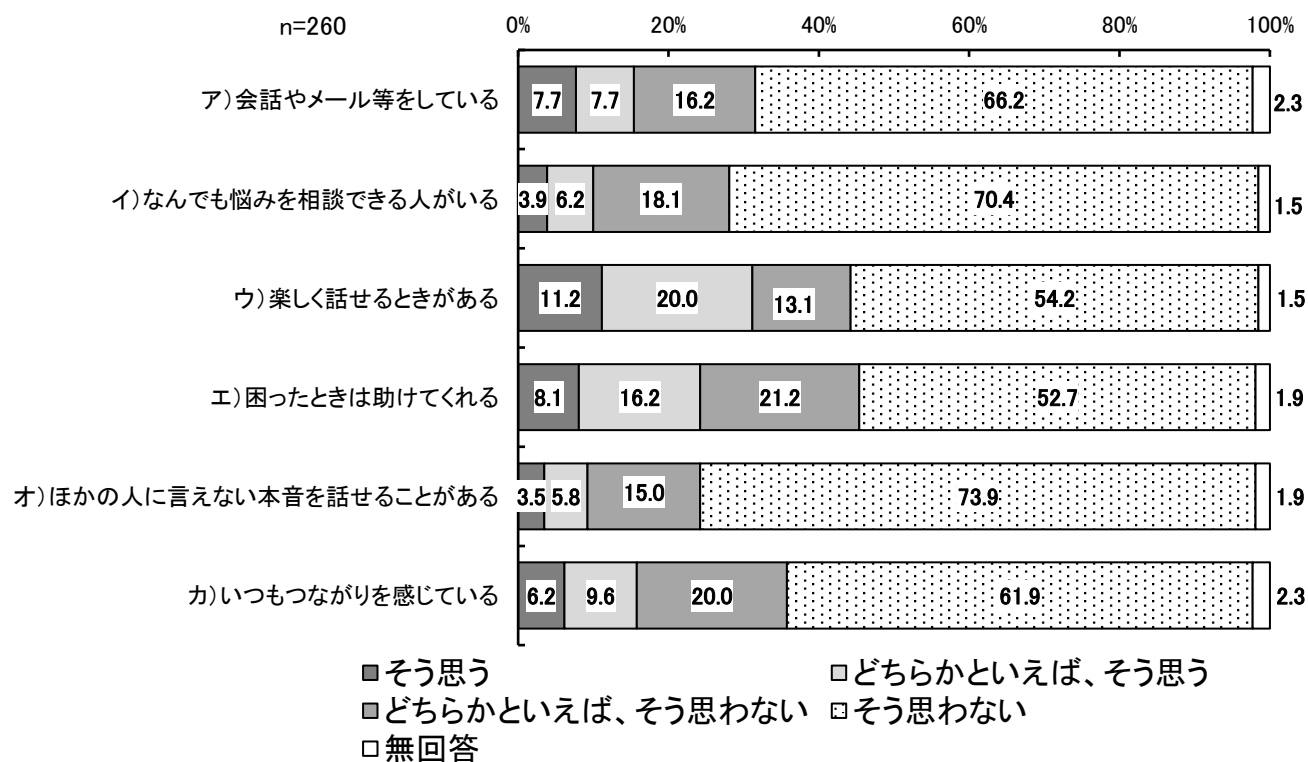


【全員にお聞きします】

問 18 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（ア～カのそれぞれについて、○は 1 つ）

地域の人とのかかわりについてみると、全ての項目で「そう思わない」が半数以上を占めています。

【单数回答】

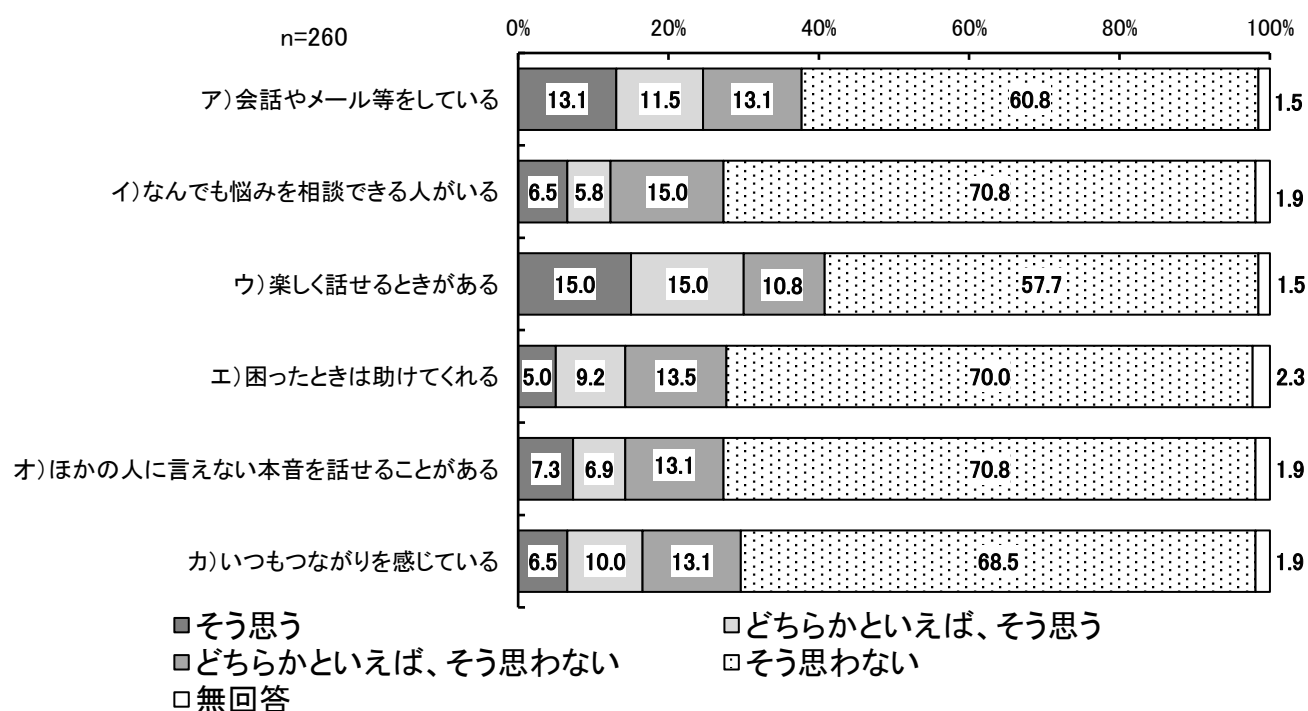


問19 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

（ア～カのそれぞれについて、○は1つ）

インターネット上における人やグループとのかかわりについてみると、全ての項目で「そう思わない」が半数以上を占めています。

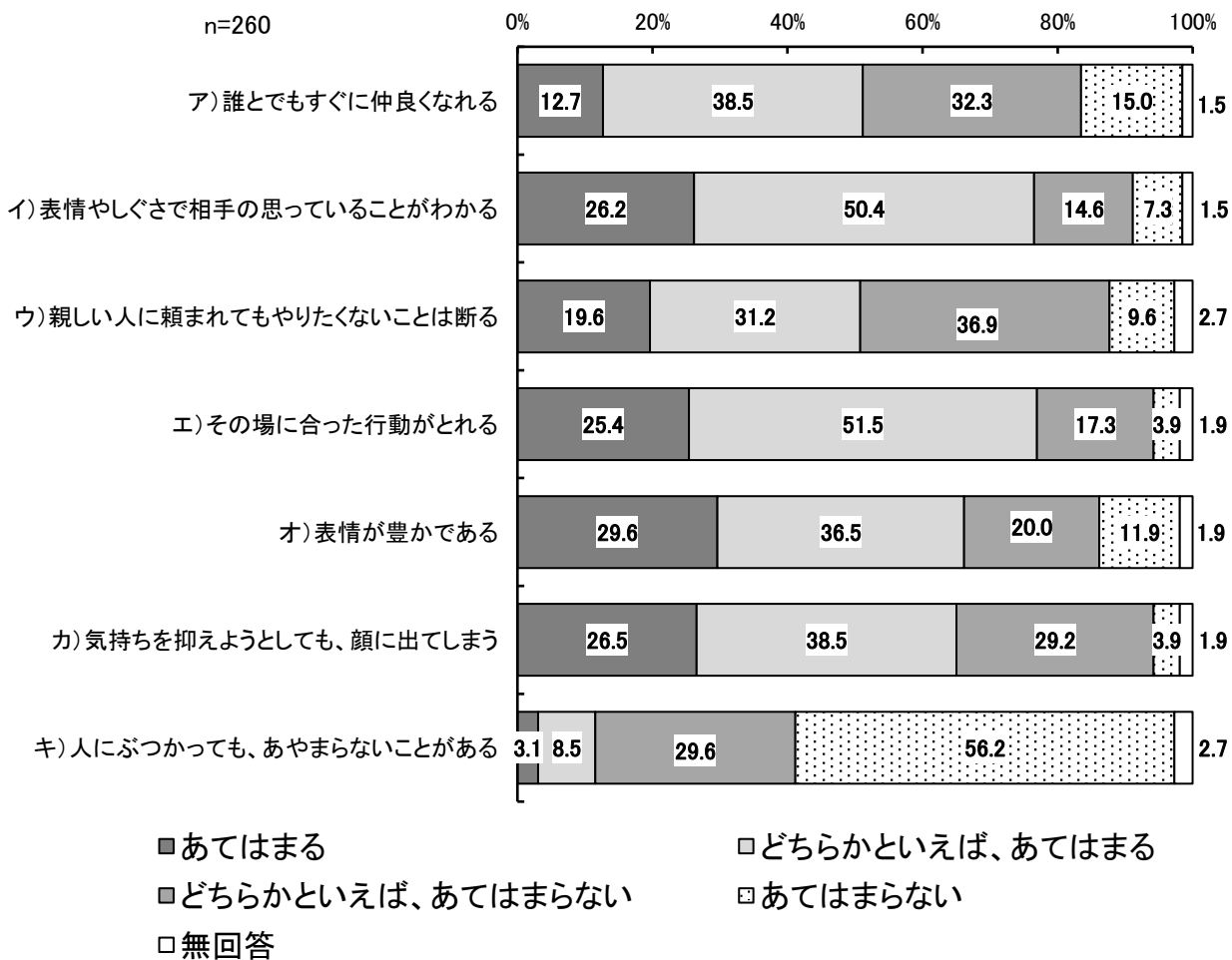
【単数回答】



問20 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(ア～キのそれぞれについて、○は1つ)

他人とのコミュニケーションについて、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の割合の合計をみると、「エ) その場に合った行動がとれる」が76.9%と最も高く、次いで「イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」が76.6%となっています。

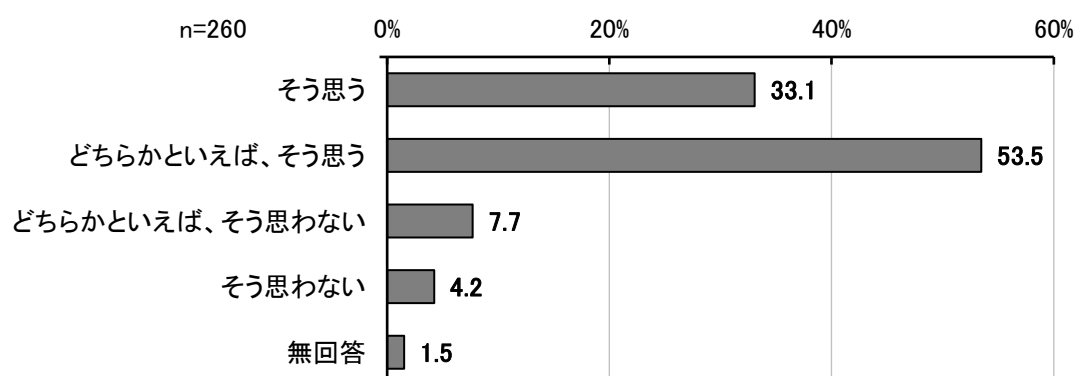
【単数回答】



問 2 1 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(○は1つ)

社会貢献の意識についてみると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計が86.6%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計が11.9%となっており、差は74.7ポイントとなっています。

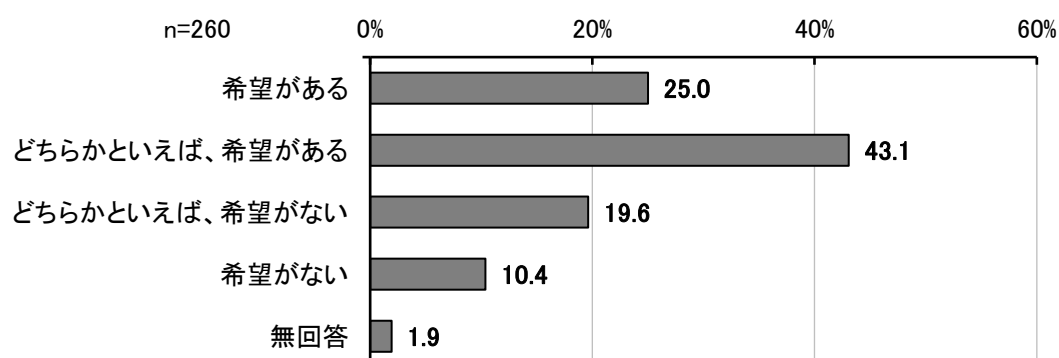
【単数回答】



問 2 2 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

自身の将来に希望があるかどうかについてみると、「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の割合の合計が68.1%、「どちらかといえば、希望がない」と「希望がない」の合計が30.0%となっており、差は38.1ポイントとなっています。

【単数回答】

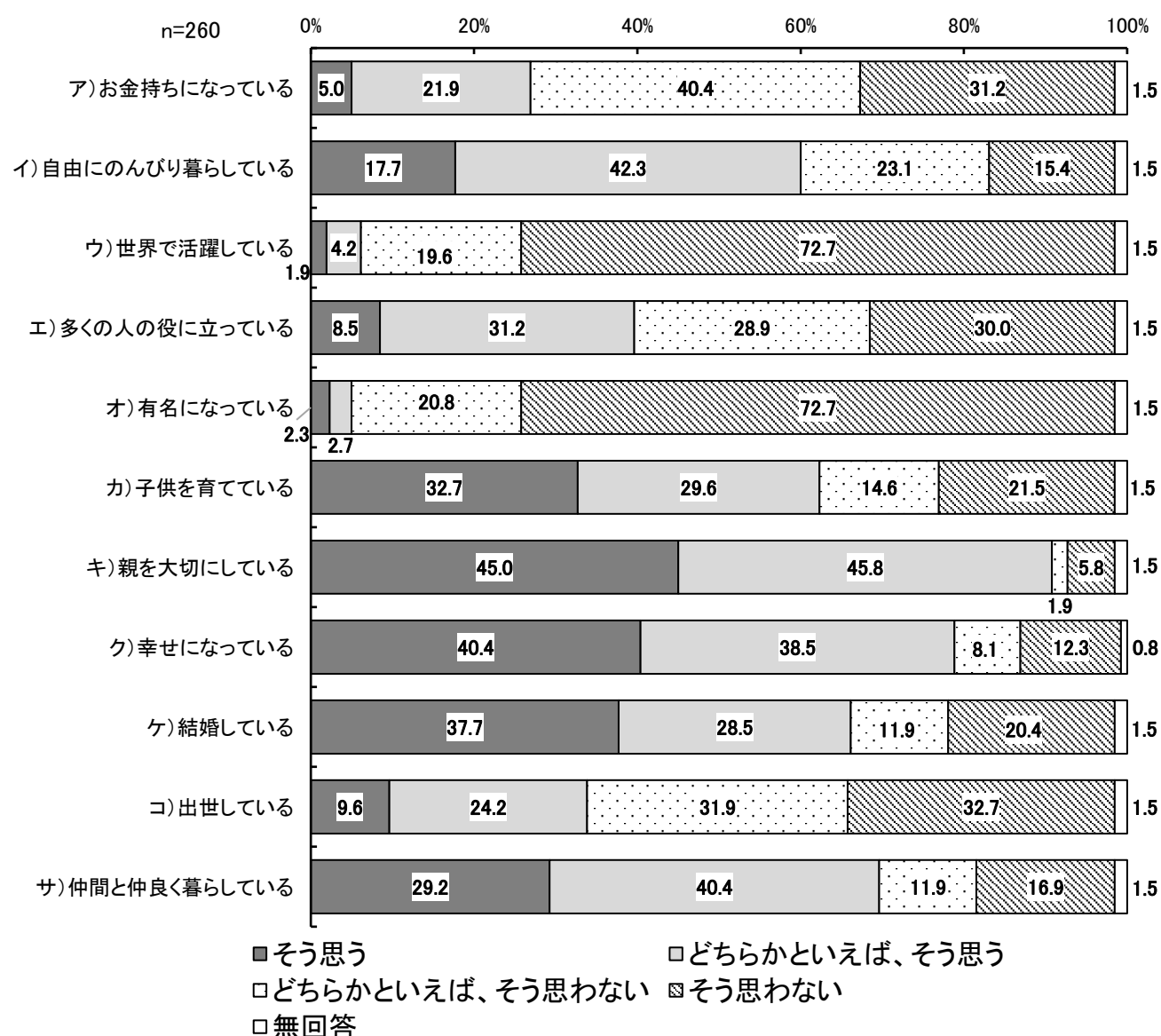


問23 あなたは、20年後、どのようになっていると思いますか。

(ア～サのそれぞれについて、○は1つ)

自身の20年後のビジョンについて、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計をみると、「キ」親を大切にしている」が90.8%と最も高くなっています。「ク」幸せになっている」が78.9%と7割台となっており、「ケ」結婚している」が66.2%、「カ」子どもを育てている」は62.3%と、6割台に留まっています。

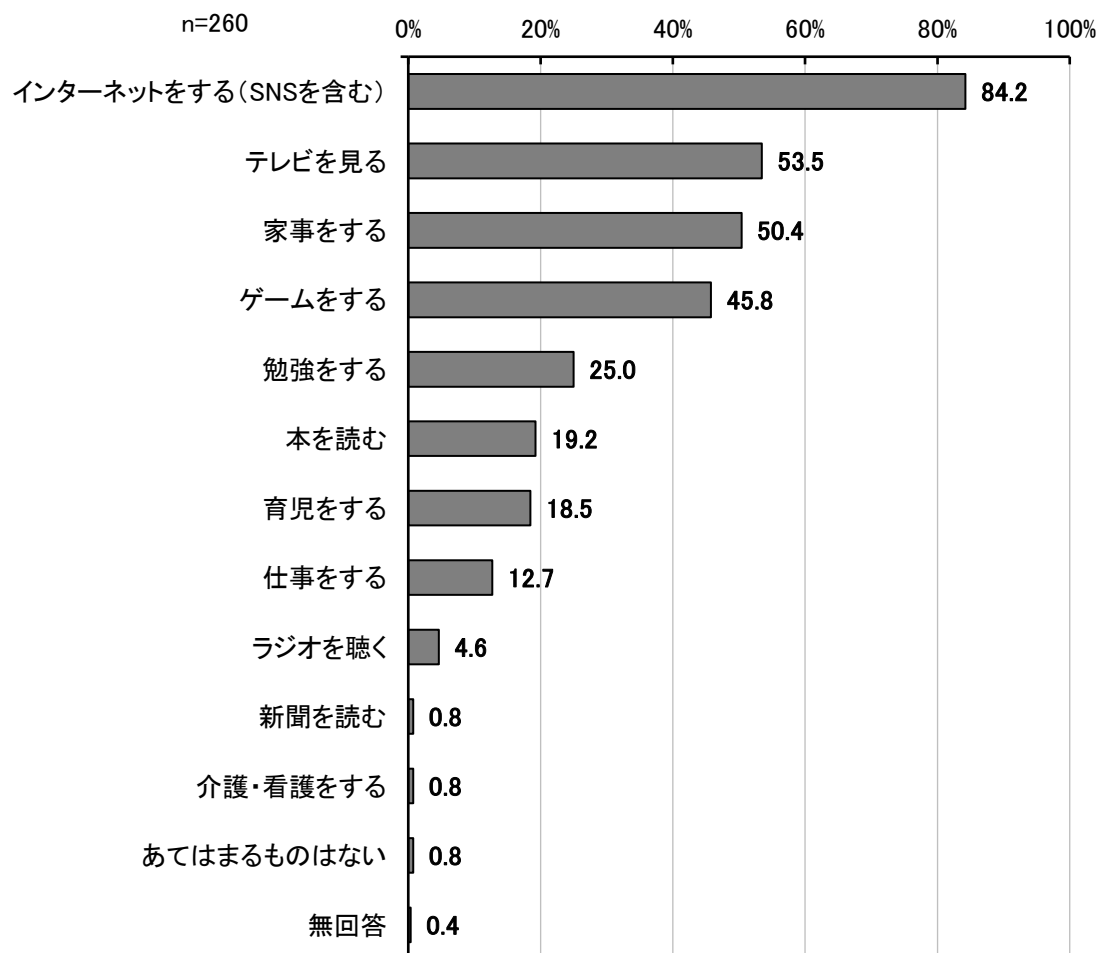
【单数回答】



問2 4 普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。
よくしていることをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

普段の暮らしの場での時間の使い方についてみると、「インターネットをする(SNSを含む)」84.2%と最も高く、次いで「テレビを見る」53.5%、「家事をする」50.4%、「ゲームをする」45.8%の順となっています。

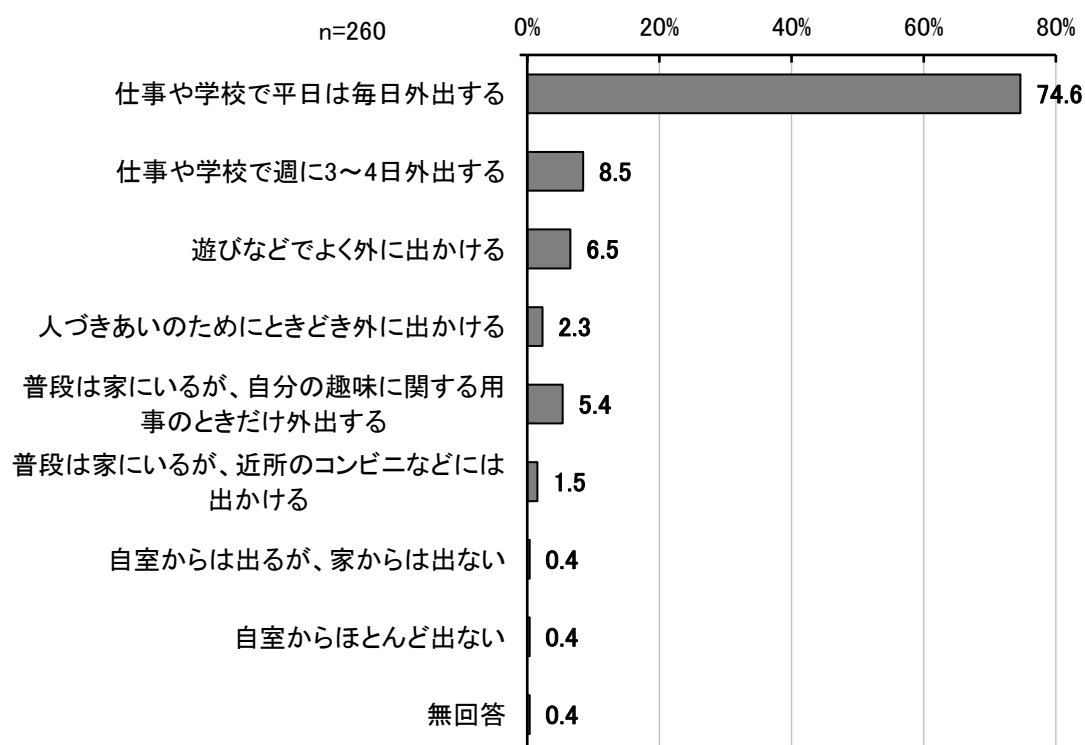
【複数回答】



問25 あなたは、普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
※在宅ワークは、「1」と「2」の仕事に含むものとします。(〇は1つ)

外出の頻度についてみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が74.6%と、7割以上を占めています。

【単数回答】

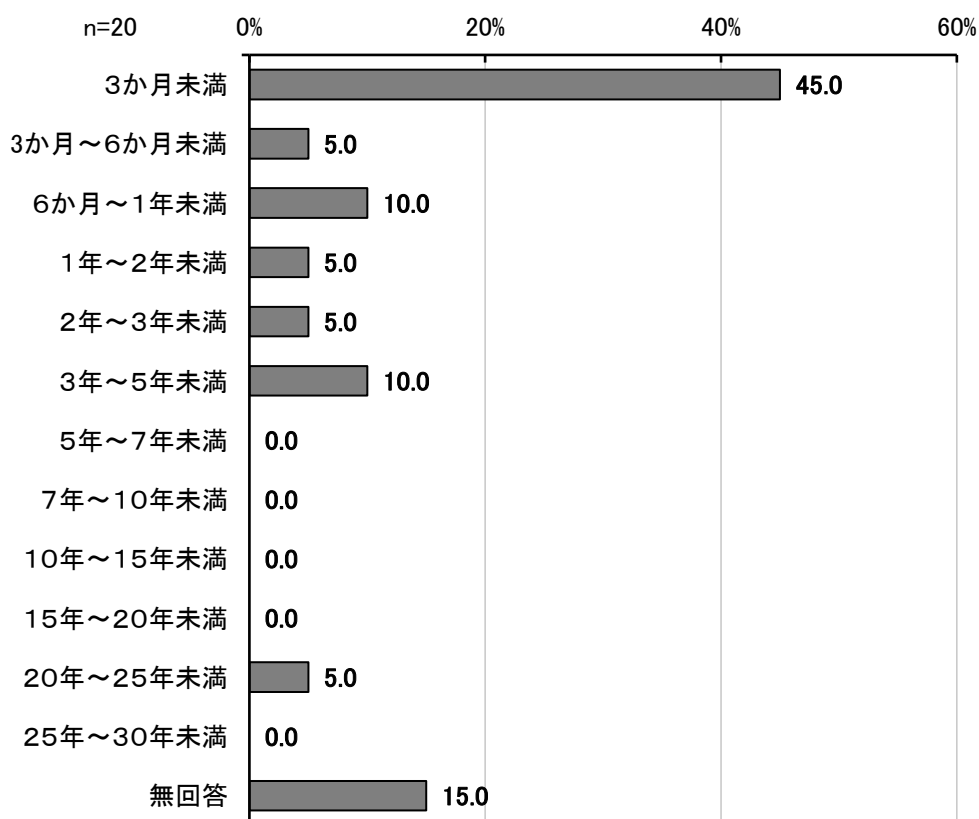


【問25で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問26 あなたの外出状況が今ようになってから、どのくらいたちますか。(〇は1つ)

現在の外出状況の継続期間についてみると、「3か月未満」の割合が45.0%と4割以上で最も高く、次いで「6か月～1年未満」と「3年～5年未満」が10.0%となっています。

【単数回答】

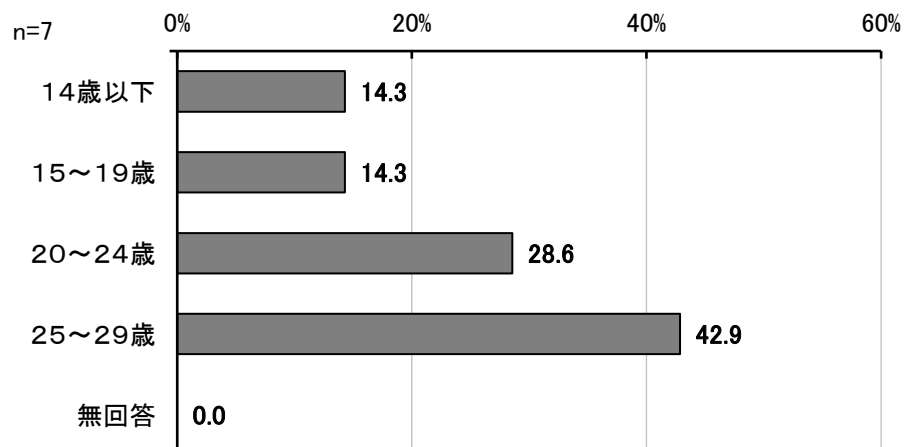


【問27～29は、問26で「3」～「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

問27 あなたの外出状況が現在の状況になったのは、何歳のころですか。(〇は1つ)

現在の外出状況になったときの年齢についてみると、「25～29歳」の割合が42.9%で最も高く、次いで「20～24歳」28.6%、「14歳以下」と「15～19歳」が14.3%となっています。

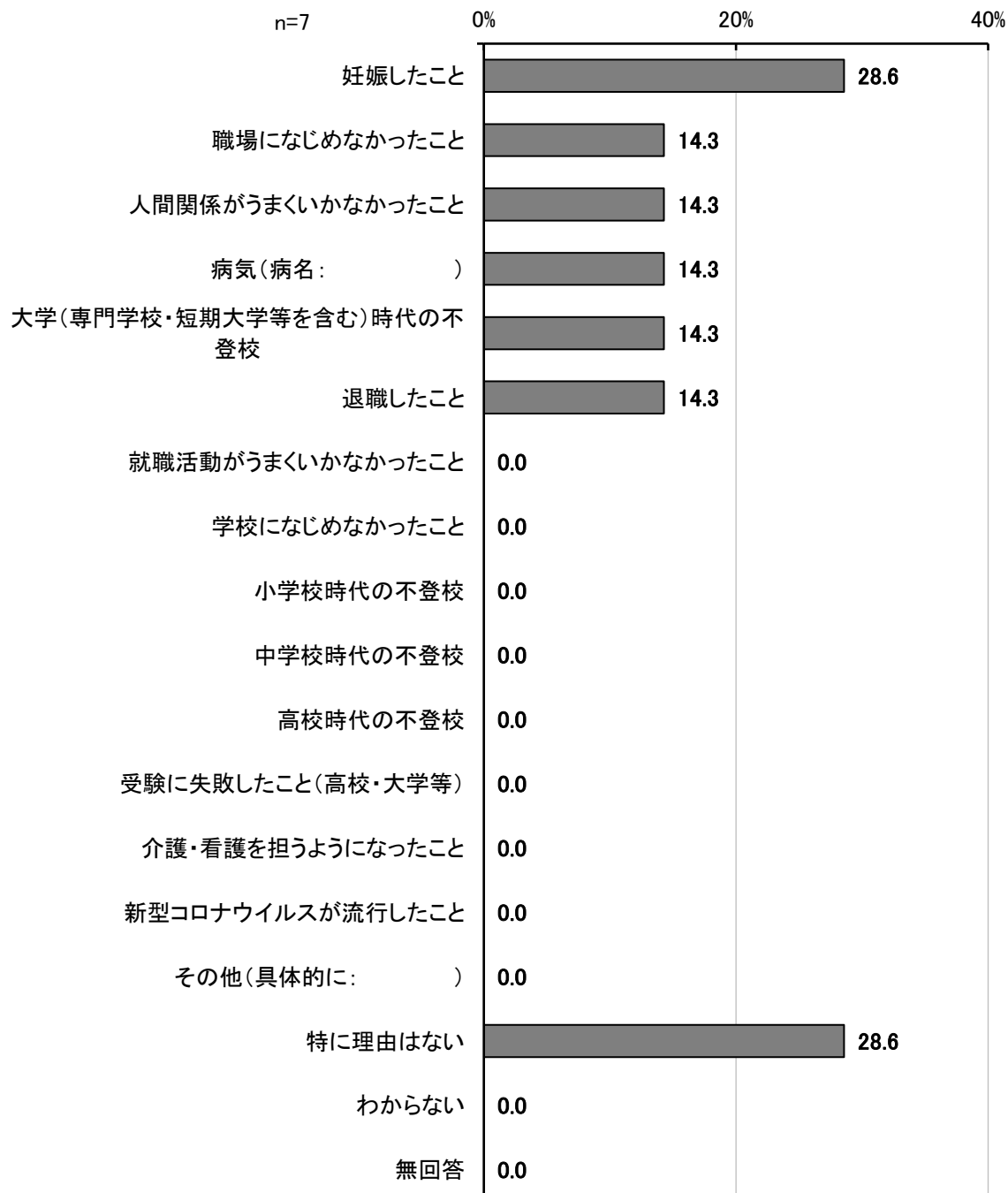
【単数回答】



問28-1 あなたの外出状況が現在の状況になった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在の外出状況になった理由についてみると、「妊娠したこと」「特に理由はない」の割合がともに28.6%で最も高くなっています。

【複数回答】

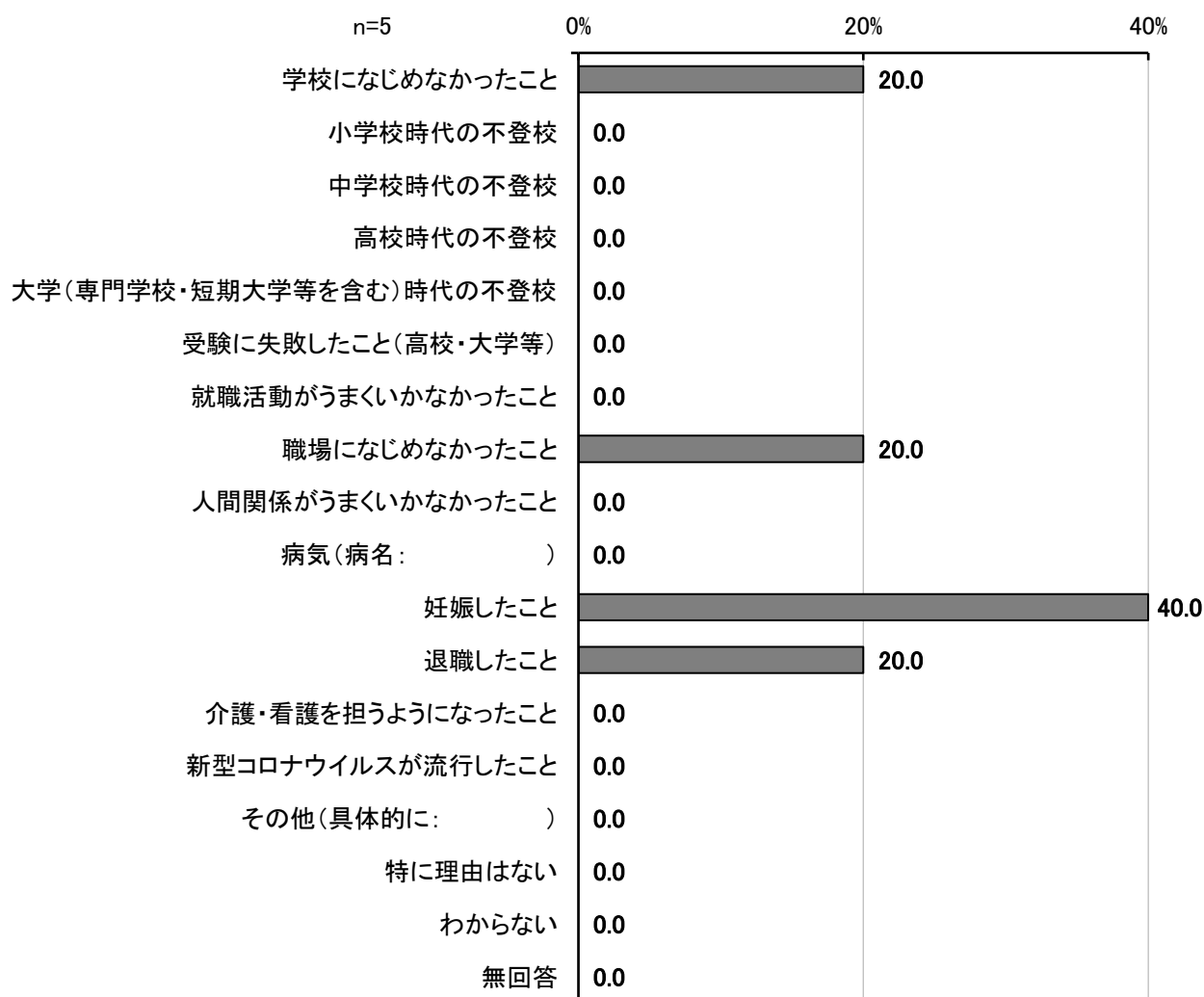


【問28-1で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。】

問28-2 あなたの外出状況が現在の状況になった最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

現在の外出状況になった最も大きな理由についてみると、「妊娠したこと」の割合が40.0%で最も高くなっています。

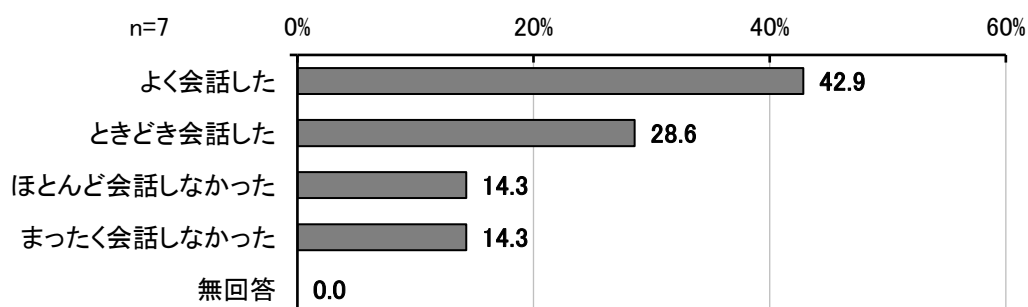
【単数回答】



問29 最近6ヵ月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(〇は1つ)

この半年の間の家族以外の人との会話頻度についてみると、「よく会話をした」と「ときどき会話をした」の割合の合計が71.5%、「ほとんど会話をしなかった」と「まったく会話をしなかった」の合計が28.6%となっており、差は42.9ポイントとなっています。

【単数回答】

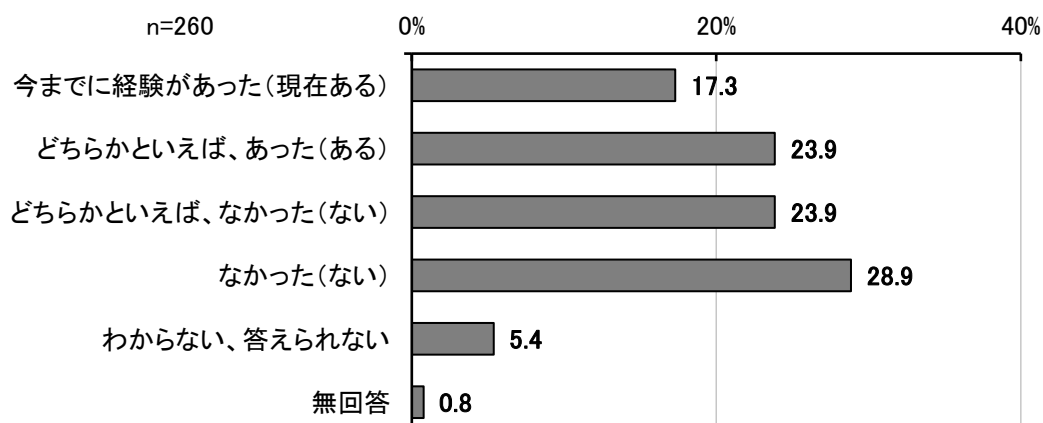


【全員にお聞きします。】

問30 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない、またはそのような経験があったかどうかについてみると、「今までに経験があった(現在ある)」と「どちらかといえば、あった(ある)」の割合の合計が41.2%、「どちらかといえば、なかった(ない)」と「なかった(ない)」の合計が52.8%となっており、差は11.6ポイントとなっています。

【単数回答】



【問31～33は、問30で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

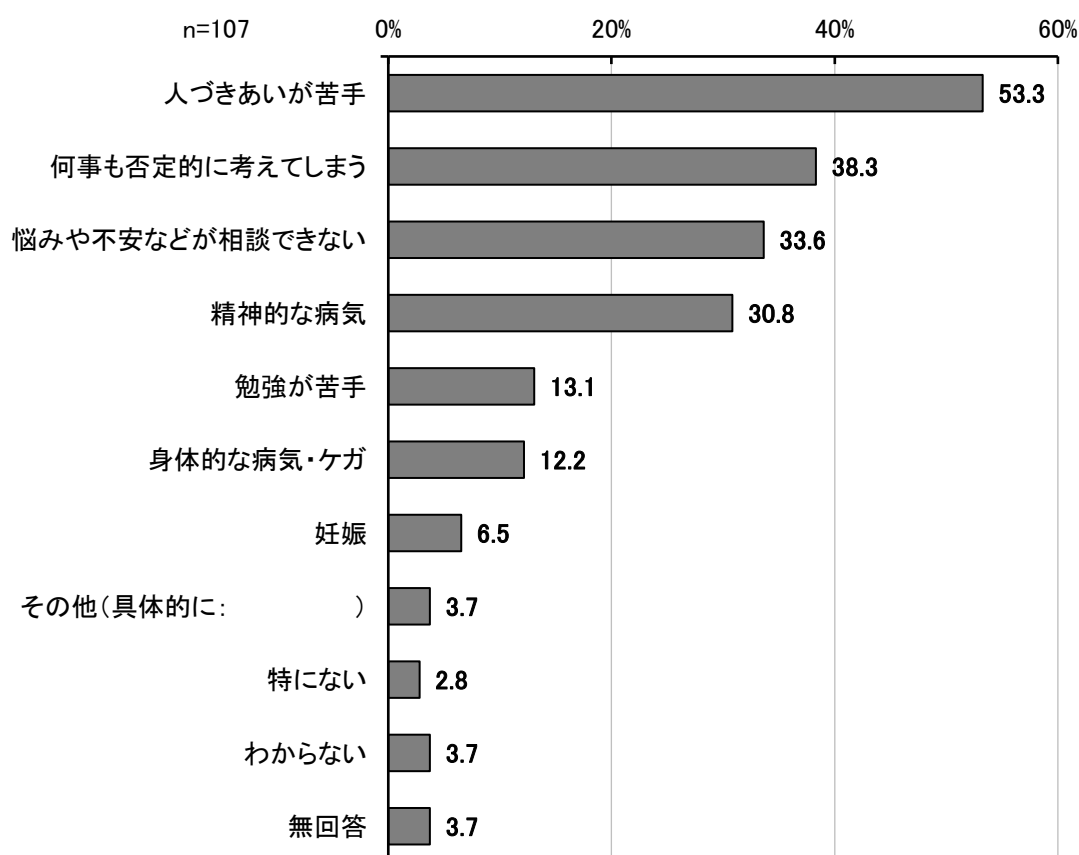
問31 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

以下の(1)～(4)のそれぞれにお答えください。

(1) 自分自身について (〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験について、その原因をみると、「人づきあいが苦手」の割合が53.3%と最も高く、次いで「何事も否定的に考えてしまう」38.3%、「悩みや不安などが相談できない」33.6%、「精神的な病気」30.8%となっています。

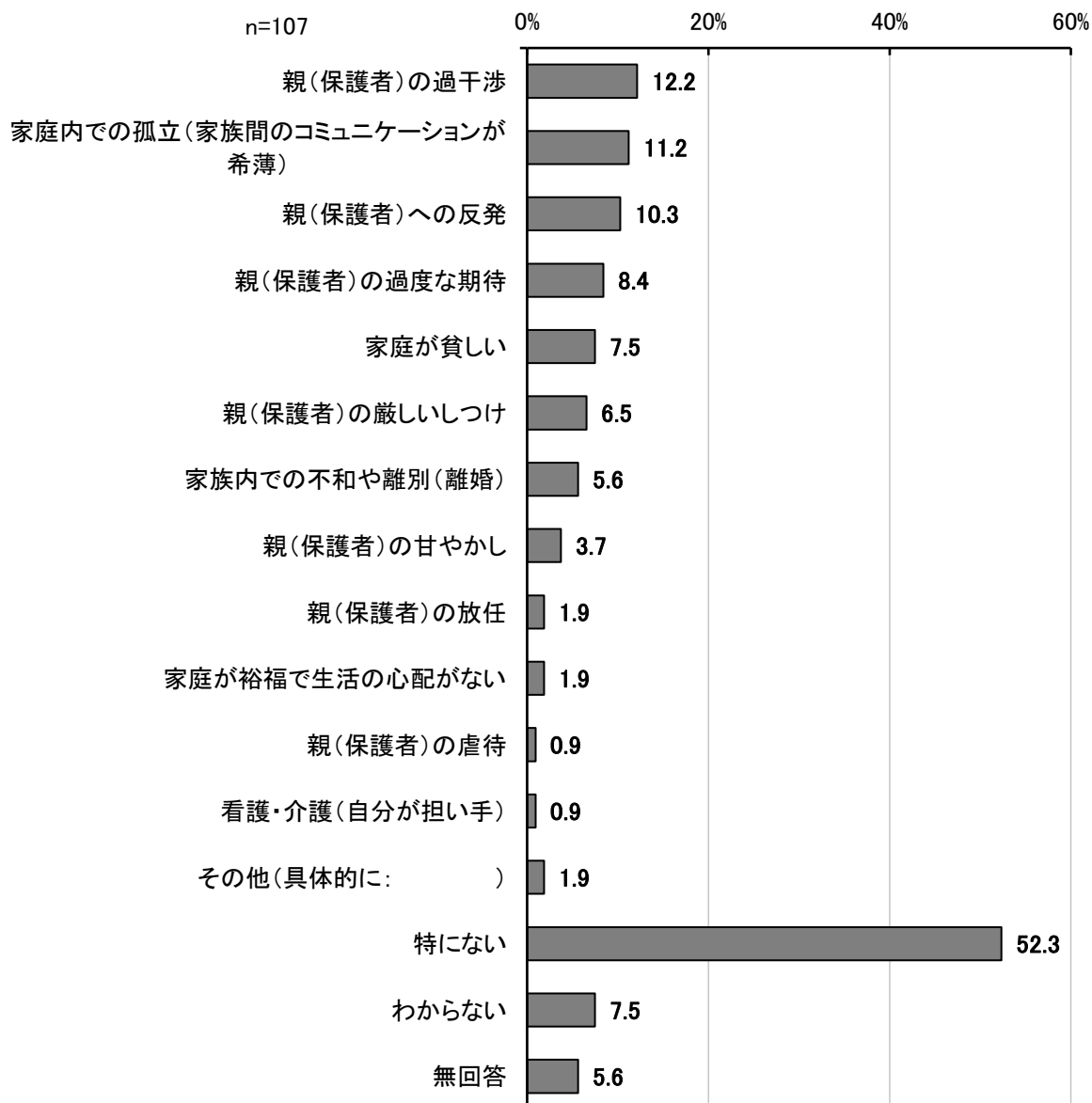
【複数回答】



(2) 家族・家庭について (〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験についてみると、「特にない」を除いて、家族・家庭における原因は、「親（保護者）の過干渉」の割合が12.2%と最も高く、次いで「家庭内での孤立（家族間のコミュニケーションが希薄）」11.2%、「親（保護者）への反発」10.3%となっています。

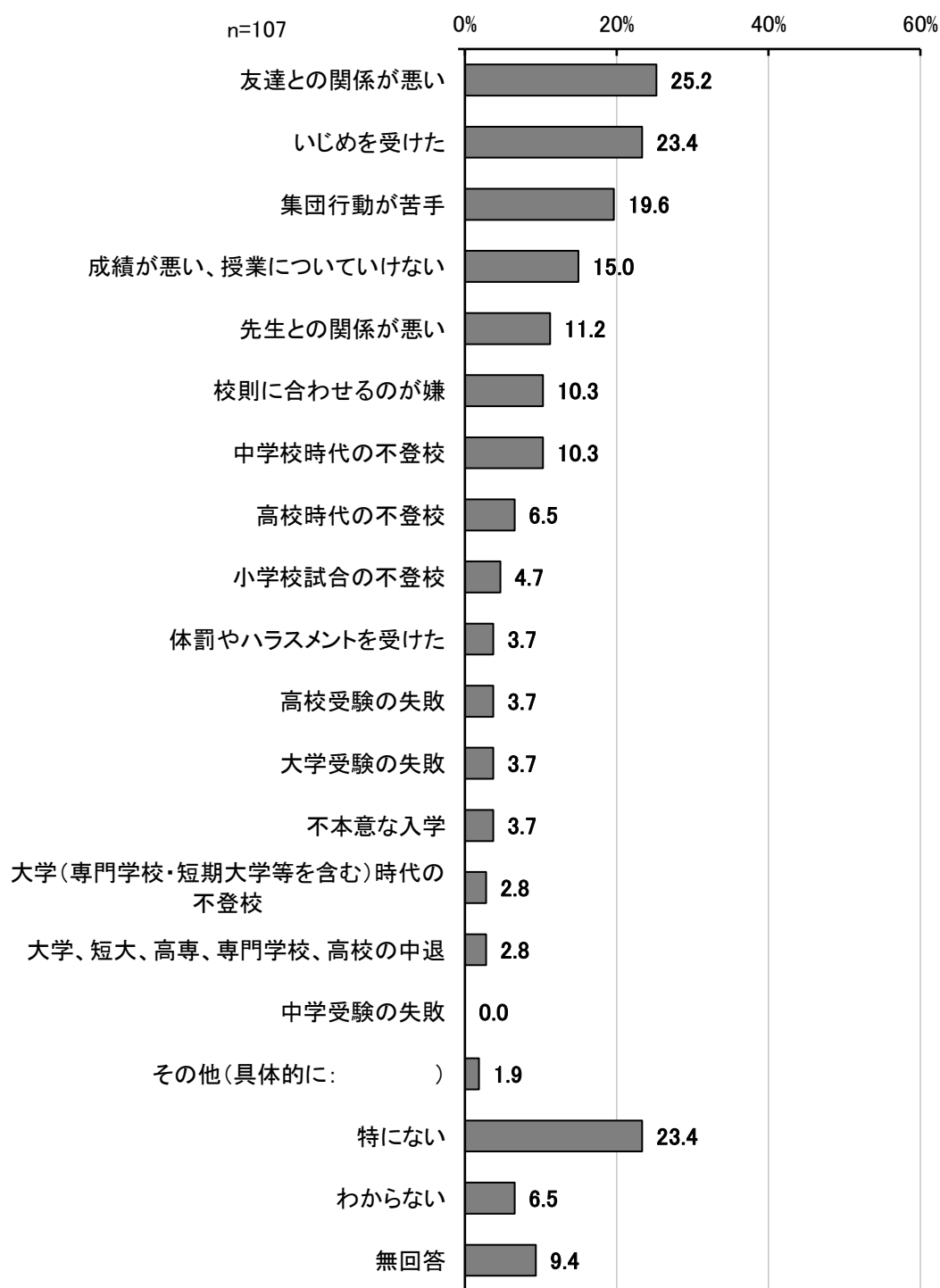
【複数回答】



(3) 学校について (〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験について、「特にない」を除いて、学校における原因は、「友達との関係が悪い」の割合が25.2%と最も高く、次いで「いじめを受けた」23.4%、「集団行動が苦手」19.6%となっています。

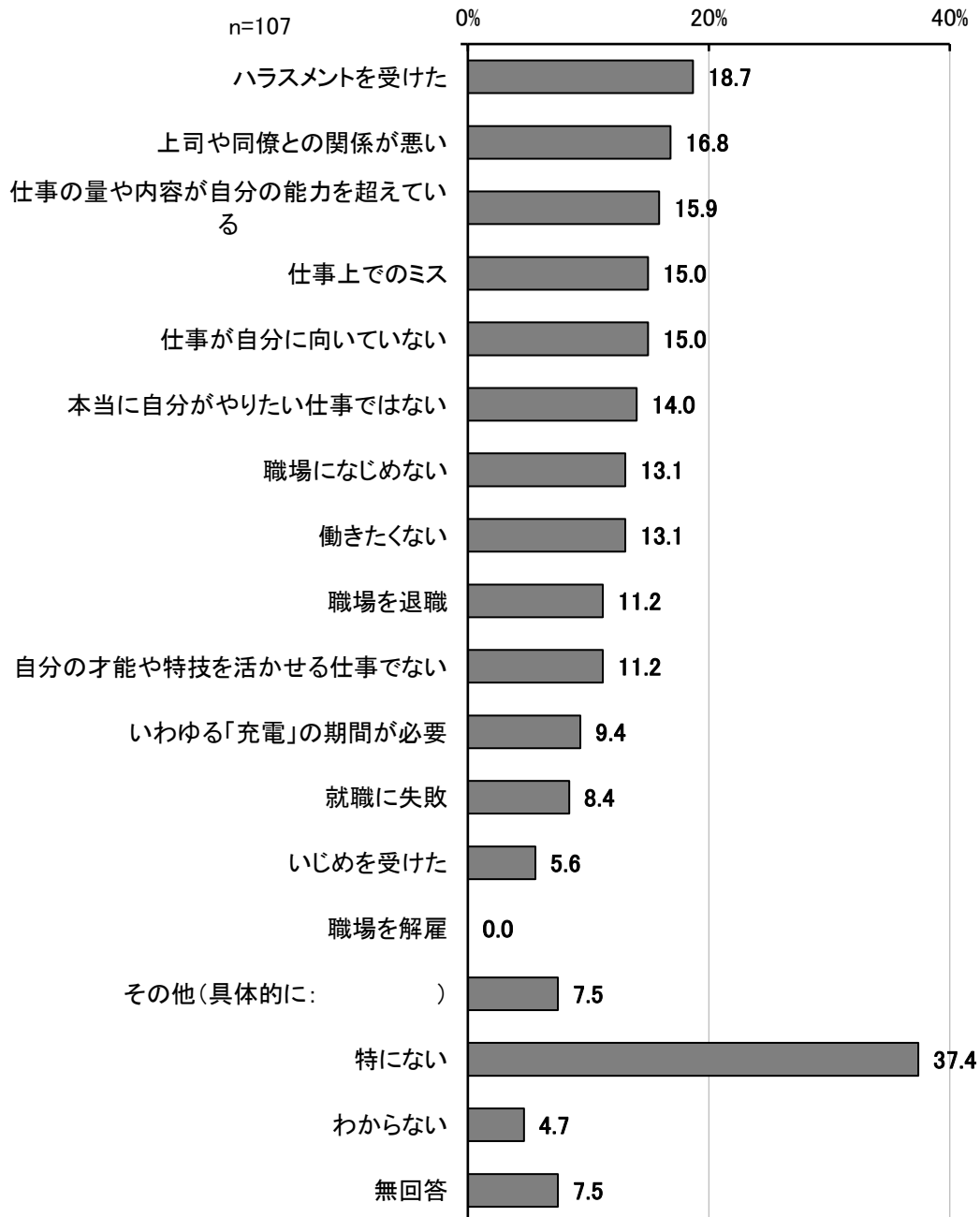
【複数回答】



(4) 仕事・職場について (〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験について、「特にない」を除いて、仕事・職場における原因は、「ハラスメントを受けた」の割合が18.7%と最も高く、次いで「上司や同僚との関係が悪い」16.8%、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」15.9%となっています。

【複数回答】



問3 2 あなたは今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験の有無についてみると、「あった」と「どちらかといえば、あった」の割合の合計が73.9%、「どちらかといえば、なかった」と「なかった」の合計が15.9%となっており、その差は58.0ポイントとなっています。

【単数回答】



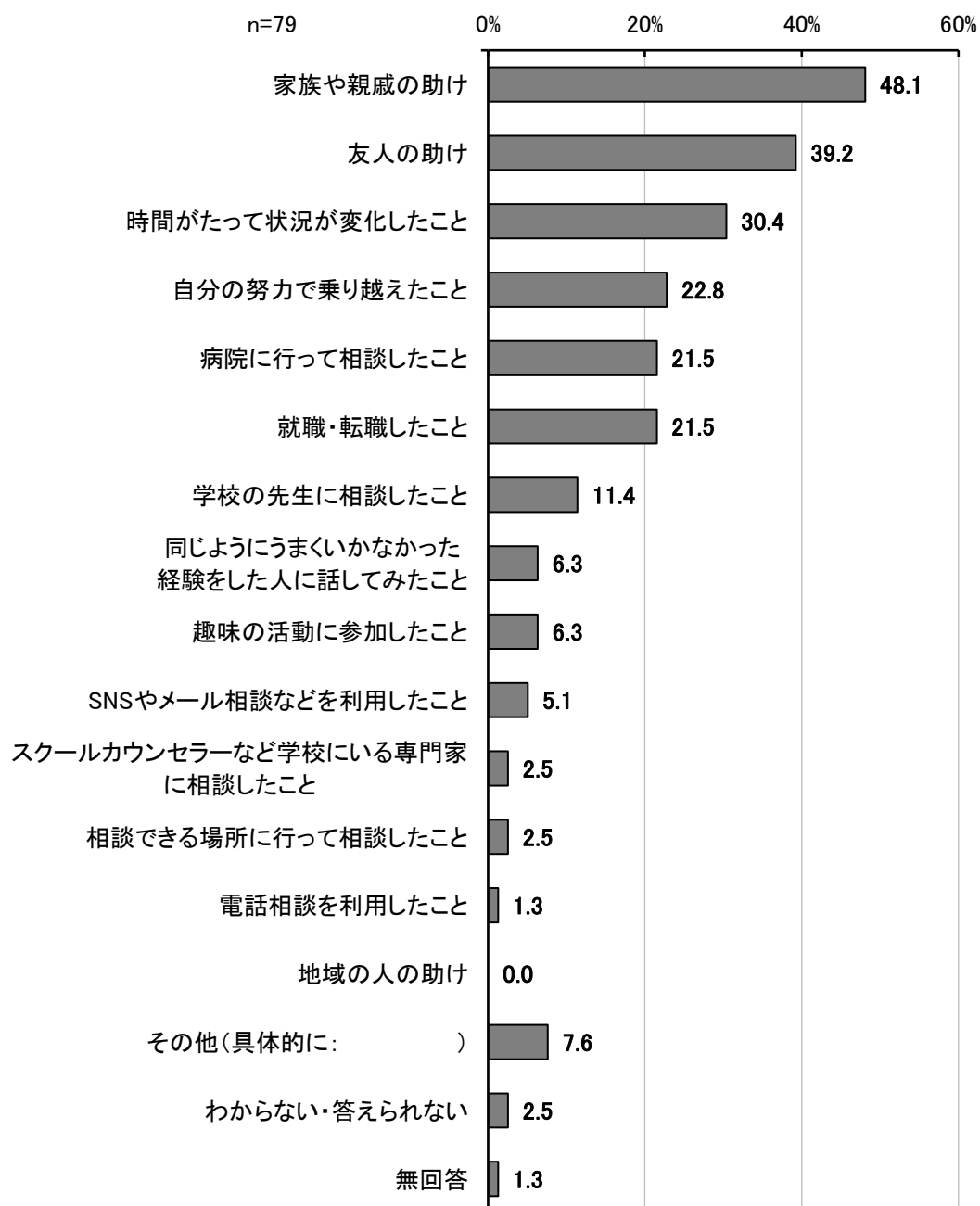
【問32で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問33 状況が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。

(〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善したきっかけや役立ったことについてみると、「家族や親戚の助け」の割合が48.1%と最も高く、次いで「友人の助け」39.2%、「時間がたって状況が変化したこと」30.4%となっています。

【複数回答】

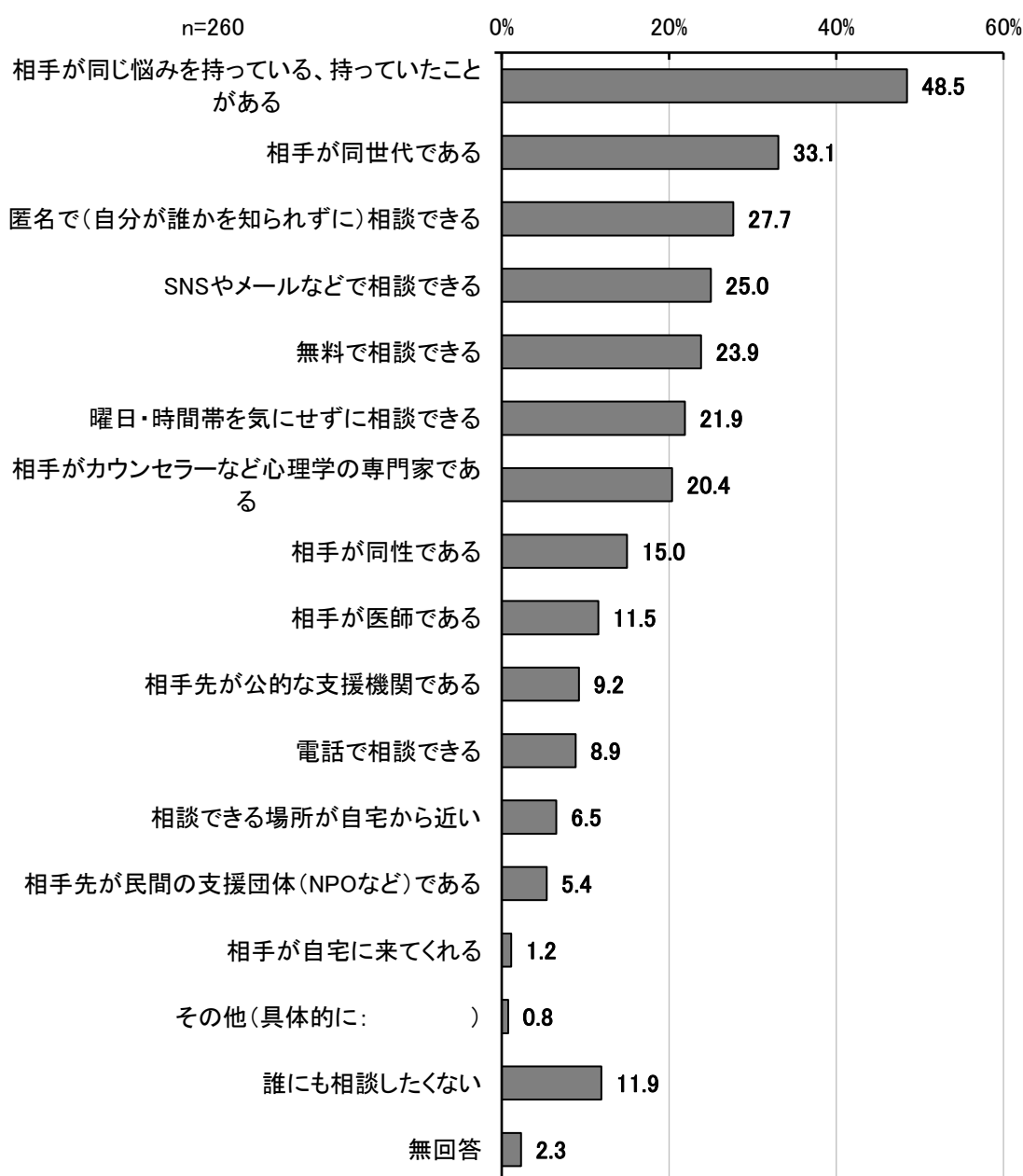


【全員にお聞きします。】

問34 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

家族や知り合い以外で相談したいと思う場所や人についてみると、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」の割合が48.5%と最も高く、次いで「相手が同世代である」33.1%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」27.7%、「SNSやメールなどで相談できる」25.0%となっています。

【複数回答】

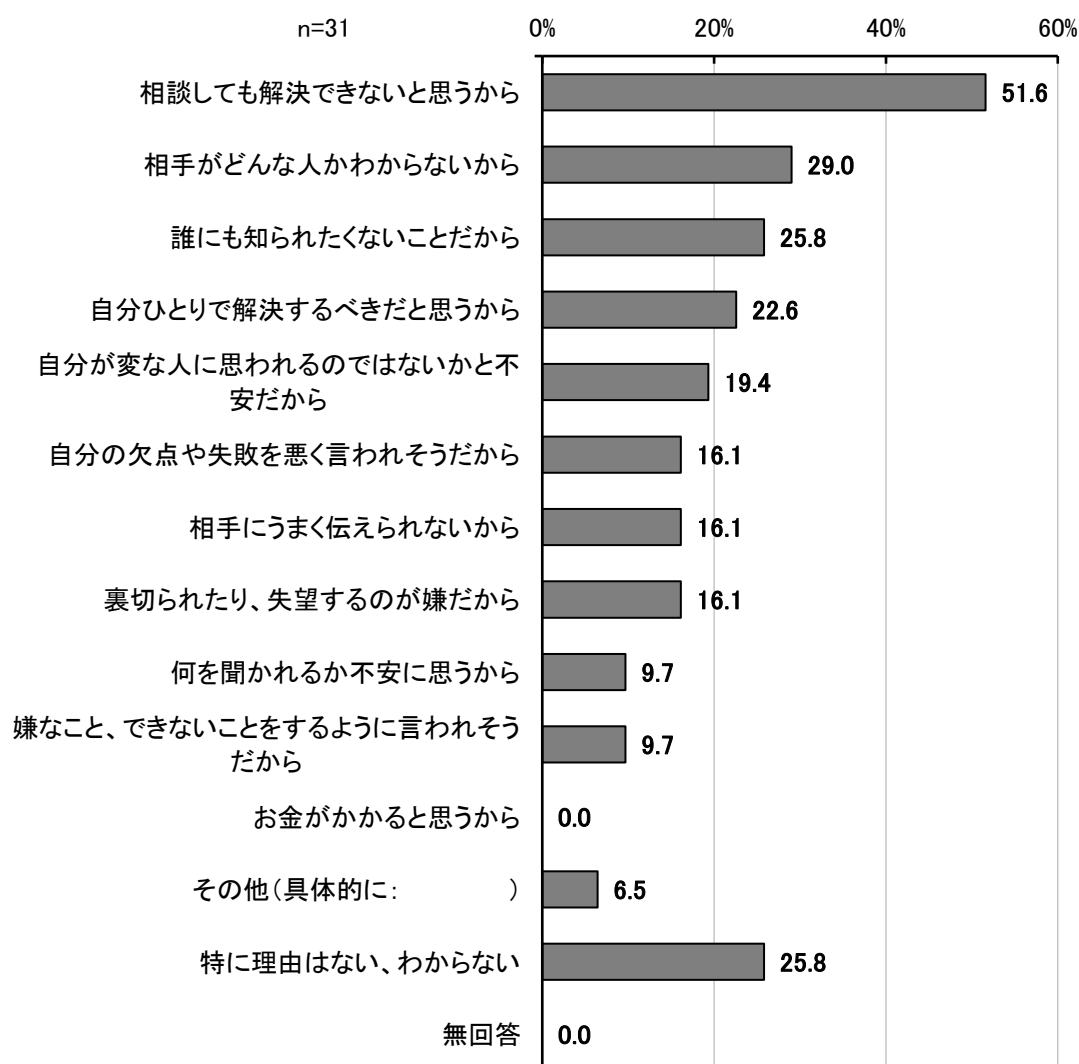


【問34で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問35 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

家族や知り合い以外に相談したくないと思う理由についてみると、「相談しても解決できないと思うから」の割合が51.6%と最も高く、次いで「相手がどんな人かわからないから」29.0%、「誰にも知られたくないことだから」25.8%となっています。

【複数回答】

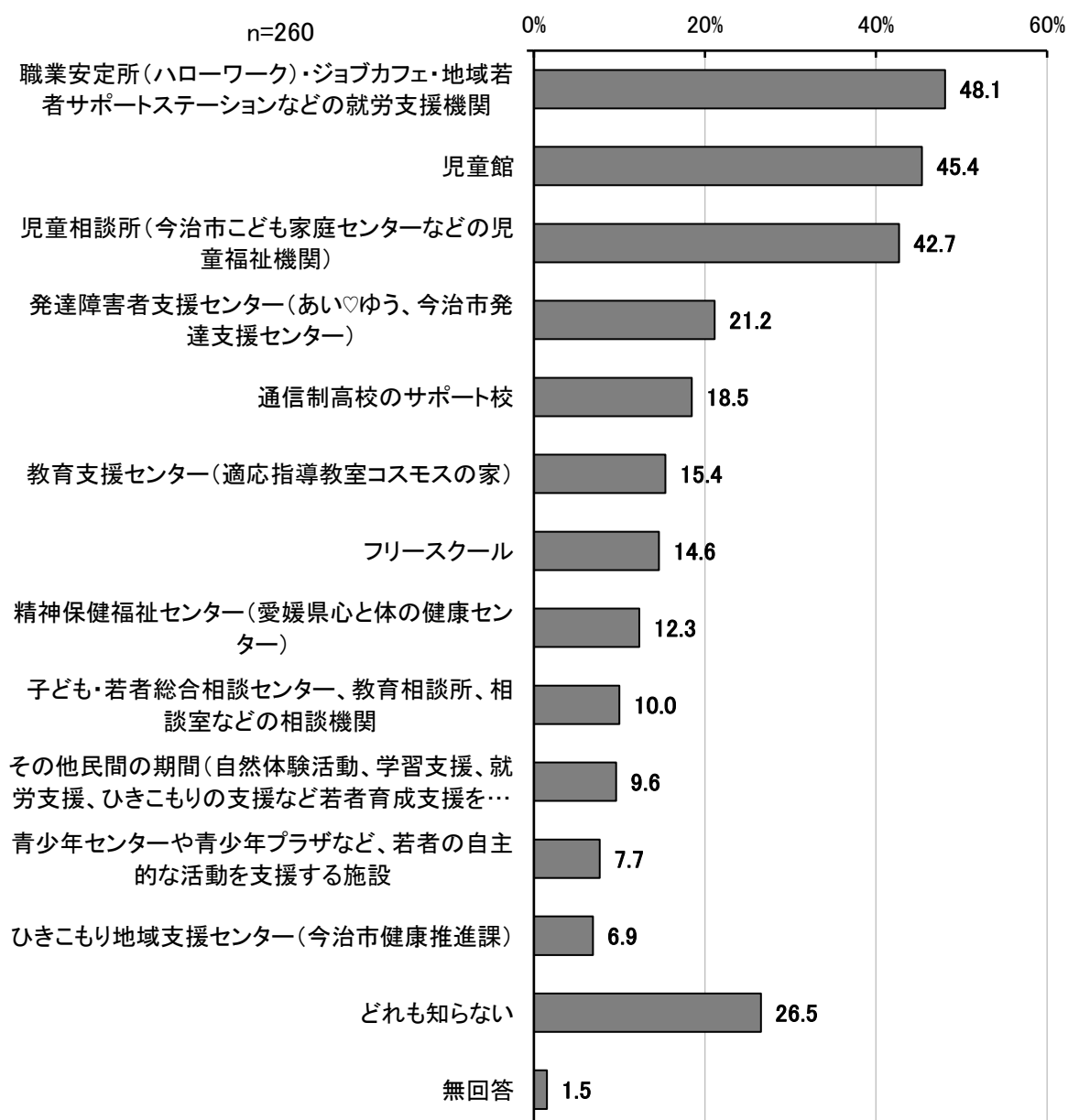


【全員にお聞きします。】

問36 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

育成支援機関等の認知度についてみると、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」の割合が48.1%と最も高く、次いで「児童館」45.4%、「児童相談所(今治市こども家庭センターなどの児童福祉機関)」42.7%となっています。

【複数回答】

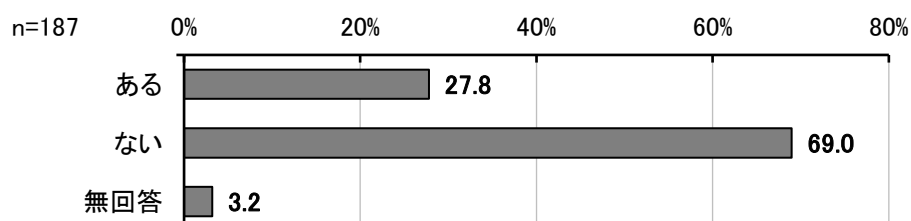


【問36で「1」～「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

問37 これらの機関を利用したことがありますか。(○は1つ)

育成支援機関等の利用の経験についてみると、「ある」が27.8%、「ない」が69.0%となっています。

【単数回答】

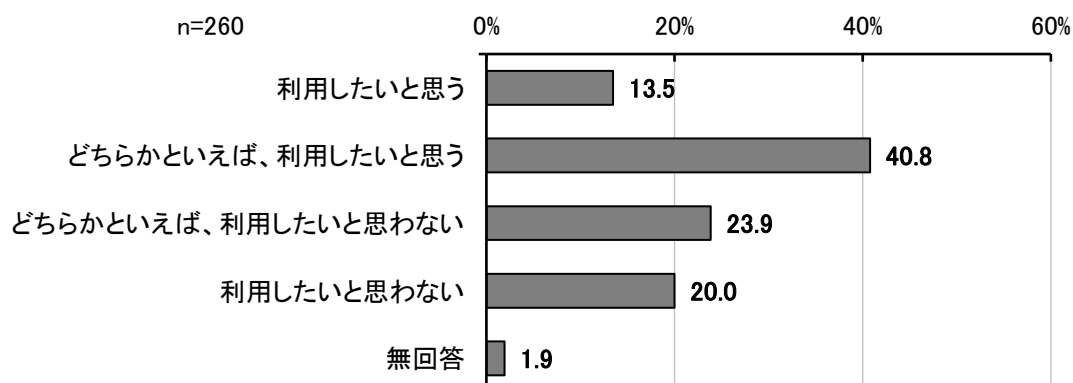


【全員にお聞きします。】

問38 これらの機関について利用したいと思いますか。(○は1つ)

育成支援機関等の利用希望についてみると、「利用したいと思う」と「どちらかといえば、利用したいと思う」の割合の合計が54.3%が過半数となっており、「どちらかといえば、利用したいと思わない」と「利用したいと思わない」の合計が43.9%となっています。

【単数回答】



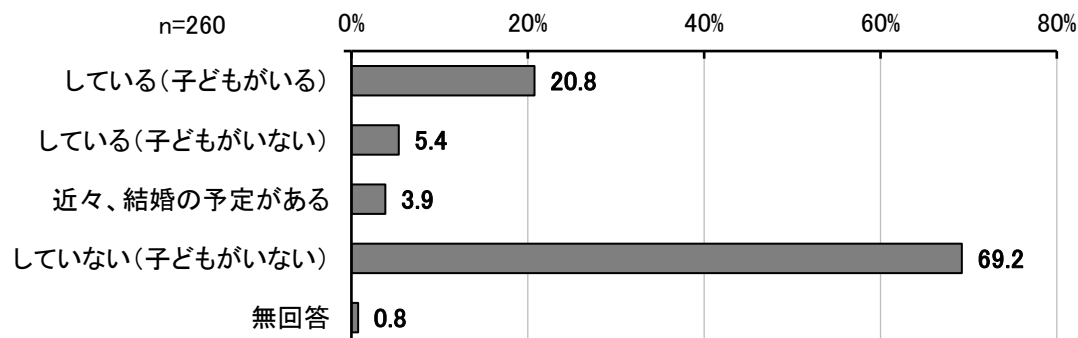
【全員にお聞きします。】

問39 少子化に関することについてお聞きします。あなたは現在結婚していますか。

(○は1つ)

結婚の状況についてみると、「していない(子どもがいない)」の割合が69.2%と約7割を占めており、次いで「している(子どもがいる)」が20.8%となっています。

【単数回答】



【問39で「4」を選んだ方のみ、お答えください。】

問40 将来の結婚希望はありますか。(○は1つ)

将来の結婚希望についてみると、「ある」の割合が73.3%と7割を超えており、「ない」が26.1%となっています。

【単数回答】

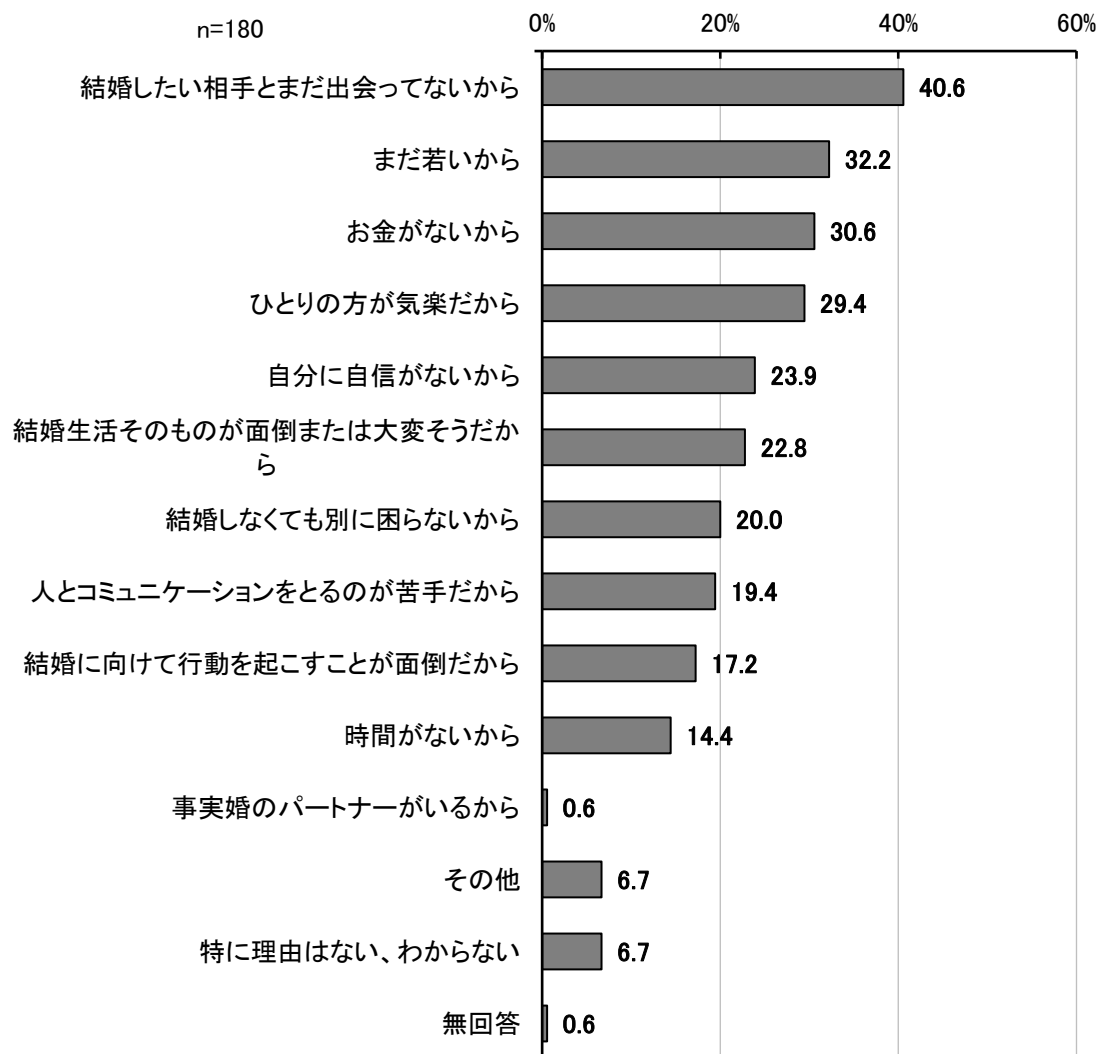


【問39で「4」を選んだ方のみ、お答えください。】

問41 あなたが結婚していない理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

結婚していない理由についてみると、「結婚したい相手とまだ出会っていないから」の割合が40.6%と最も高く、次いで「まだ若いから」32.2%、「お金がないから」30.6%、「ひとりの方が気楽だから」29.4%となっています。

【複数回答】

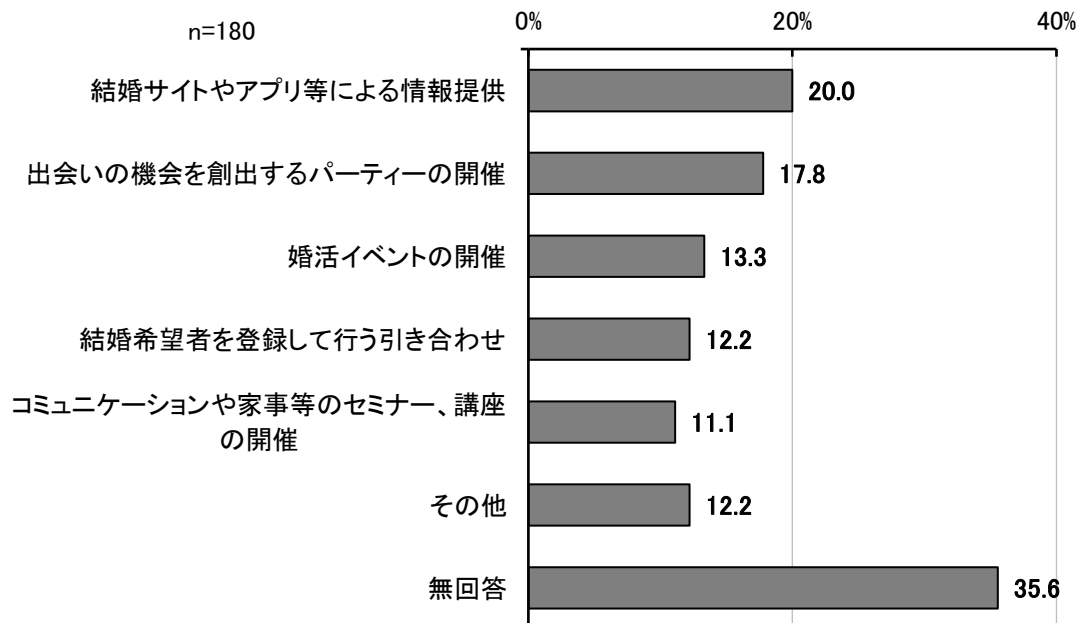


【問39で「4」を選んだ方のみ、お答えください。】

問42 あなたが行政に対して期待する結婚支援サービスを教えてください。(〇は2つまで)

行政に対して期待する結婚支援サービスについてみると、「結婚サイトやアプリ等による情報提供」の割合が20.0%と最も高く、次いで「出会いの機会を創出するパーティの開催」17.8%となっています。

【複数回答】

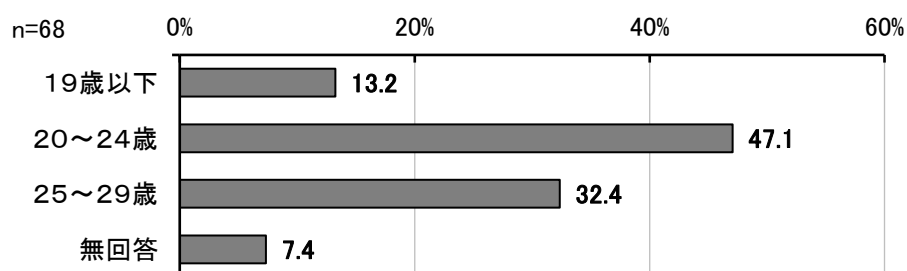


【問39で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問43 あなたは何歳で結婚しましたか。(再婚している場合は初婚時の年齢)(○は1つ)

結婚時の年齢についてみると、「20～24歳」の割合が47.1%と最も高く、次いで「25～29歳」32.4%、「19歳以下」13.2%となっています。

【単数回答】

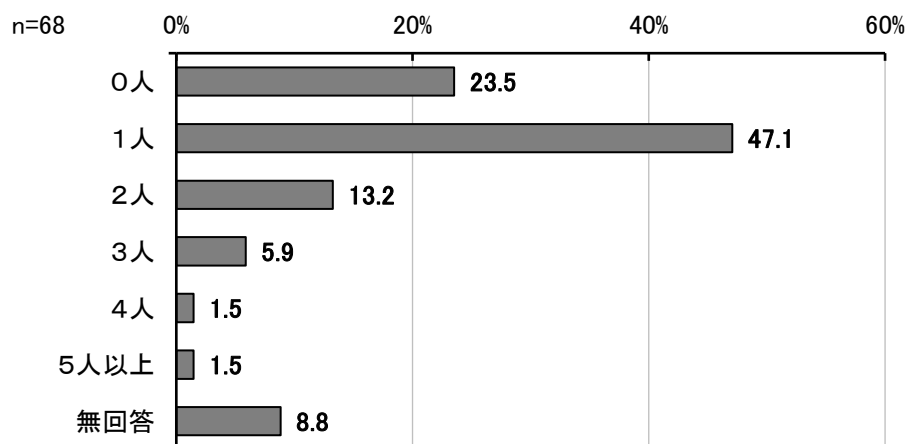


【問39で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問44 あなたの現在の子どもの人数を教えてください。(○は1つ)

現在の子どもの人数についてみると、「1人」の割合が47.1%と最も高く、次いで「0人」23.5%、「2人」13.2%、「3人」5.9%、「4人」と「5人以上」が1.5%となっています。

【単数回答】

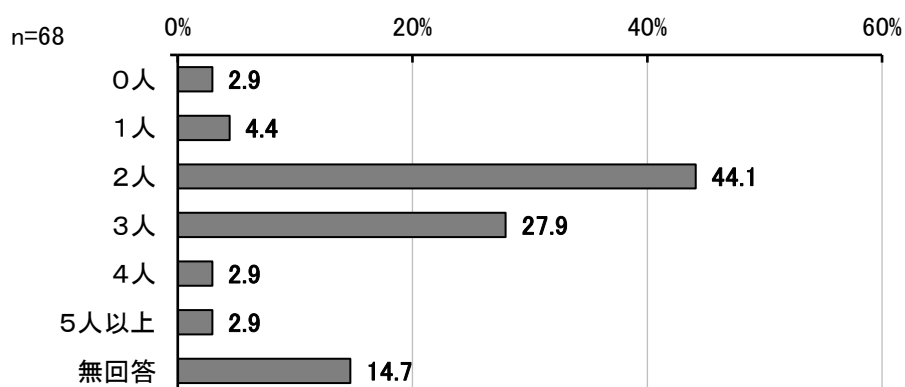


【問39で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問45 理想的な子どもの人数を教えてください。(〇は1つ)

理想的な子どもの人数についてみると、「2人」の割合が44.1%と最も高く、次いで「3人」27.9%となっています。

【単数回答】

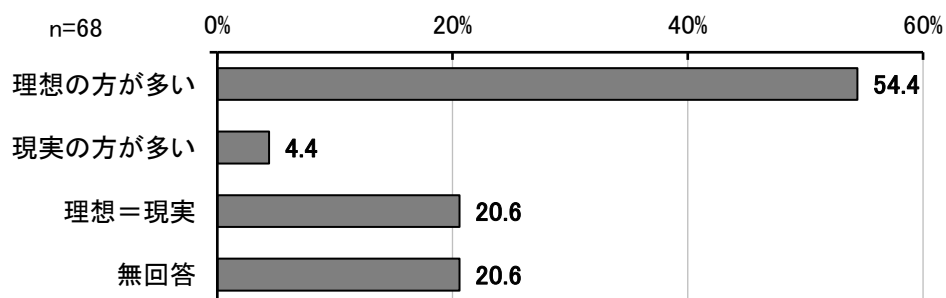


【問39で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問46 子どもの人数について、理想と現実には差がありますか。(〇は1つ)

子どもの人数について理想と現実との差についてみると、「理想の方が多い」の割合が54.4%と半数以上を占めています。

【単数回答】



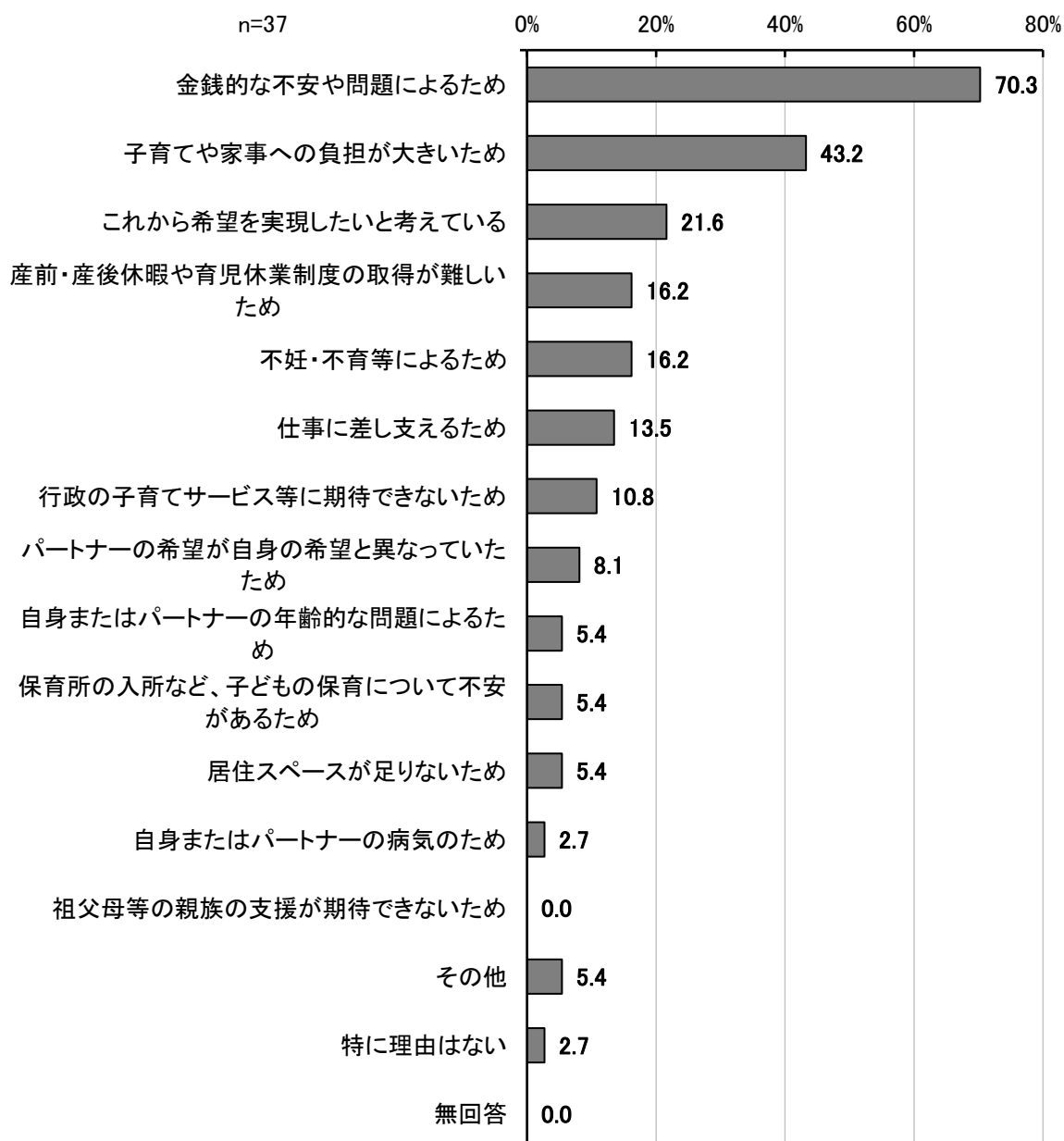
【問46で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問47 子どもの人数について、理想の方が多いと回答した理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

子どもの人数について理想の方が多いと回答した理由についてみると、「金銭的な不安や問題によるため」の割合が70.3%と最も高く、次いで「子育てや家事への負担が大きいため」43.2%となっています。

【複数回答】

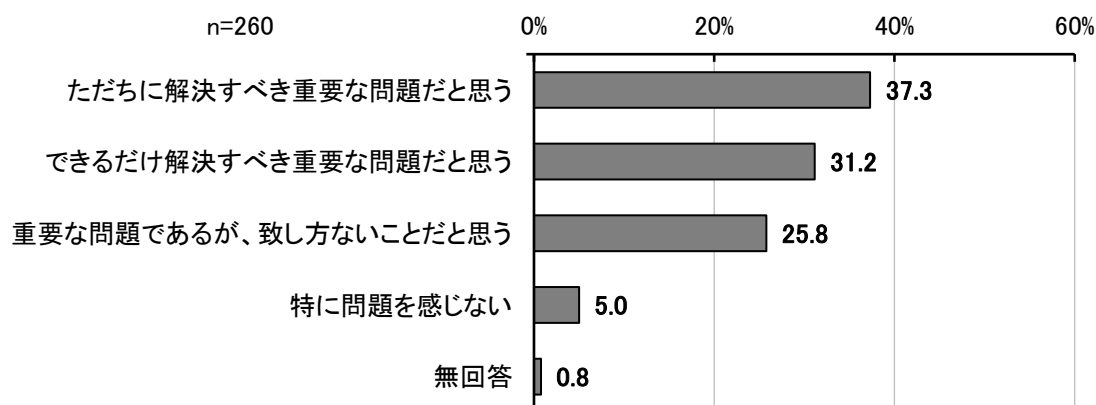


【全員にお聞きします。】

問48 日本全国で少子化が急速に進行していますが、あなたは少子化問題をどのように捉えていますか。(〇はいくつでも)

少子化問題への意識についてみると、「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」の割合が37.3%と最も高く、次いで「できるだけ解決すべき重要な問題だと思う」31.2%、「重要な問題であるが、致し方ないことだと思う」25.8%となっています。

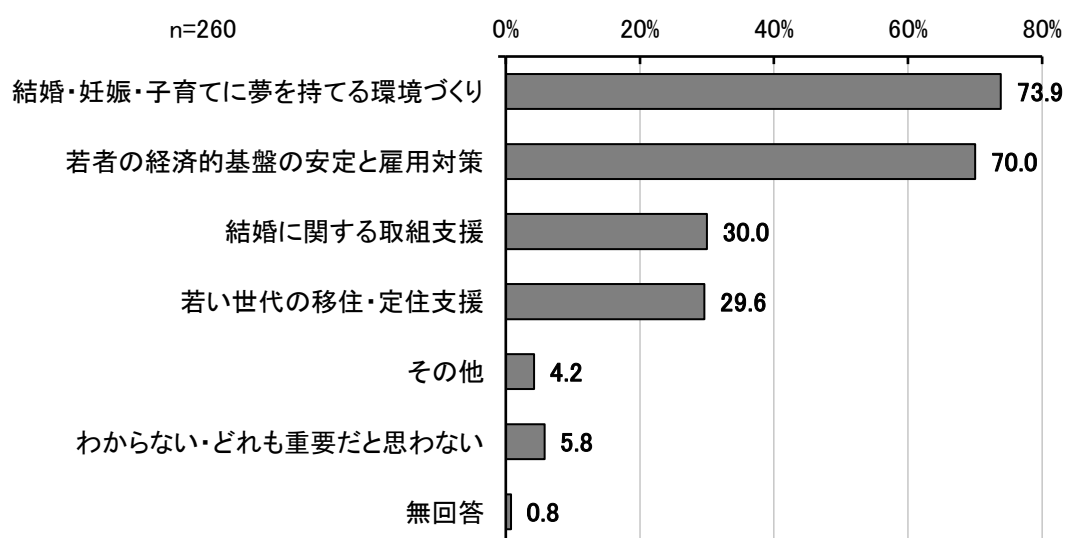
【複数回答】



問49 次の少子化対策のうち、若い世代への取組について、あなたが重要だと思う取組を教えてください。(〇はいくつでも)

重要だと思う若い世代への少子化対策の取組についてみると、「結婚・妊娠・子育てに夢を持てる環境づくり」の割合が73.9%と最も高く、次いで「若者の経済的基盤の安定と雇用対策」70.0%となっています。

【複数回答】



問50 少子化対策として今治市が実施している事業のうち、知っている事業を教えてください。（〇はいくつでも）

本市が実施している少子化対策に関する事業の認知度についてみると、「18歳までのこども医療費無償化」の割合が44.6%と最も高く、次いで「出産子育て応援金」34.2%、「子どもが真ん中応援券・笑顔っ子応援券」25.4%となっています。

【複数回答】

